様式1

（様式１）令和４年度実施事業及び令和５年度新規事業
防衛省

令和５年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の令和６年度予算概算要求への反映状況調表

政策	施策	事業番号	事　業　名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B−A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備　考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
政策名：Ⅰ-1　我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）																															
	施策名：Ⅰ-1-(1)　スタンドオフ防衛能力																														
		0001	弾薬（航空自衛隊）	昭和51年度	終了予定なし	14,727	16,206	14,873	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・短期アウトカムから長期アウトカムへのつながりについて、適切な記載とするよう指導した。	62,757	54,491	▲8,266	–	執行等改善	・短期アウトカムから長期アウトカムへのつながりについて適切に記載した。 ・引き続き原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0096 −	− −	− −		–	–	令和3年度			
		0002	１２式地対艦誘導弾能力向上型（地発型・艦発型・空発型）の開発	令和3年度	令和9年度	139	139	139	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業の進捗がみられることから、その経年によりどの程度事業の効率化が図られたかに関する自己点検について記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	3,189	31,319	28,130	–	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、効率化に関する点検結果について記載した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0141 −	防衛 21 − 0231 −	− −		–	–	令和4年度			
		0003	火薬庫の整備	昭和29年度	終了予定なし	1,705	193,425	176,525	・各年度の達成状況について、公表可能な達成割合等は示していただく必要があるのではないか。また、複数個所の整備をまとめて一契約で発注、整備後の維持管理の包括化など、効率的な実施に留意されたい。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	2,630	12,215	9,585	–	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の効率的な実施手法について幅広く検討する。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 21 − 0200 −	防衛 21 − 0113 −	− −		書面点検	その他	平成30年度			
		0004	島嶼防衛用高速滑空弾の研究	令和元年度	令和7年度	3,504	427	317	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	29,458	37,692	8,234	–	現状通り	成果目標の設定理由について、具体的に追記した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0146 −	防衛 21 − 0231 −	− −		–	–	令和3年度			
		新23-0001	イージス艦に搭載する関連器材の取得等（トマホーク）	令和5年度	令和10年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	5,522	5,527	5	–	現状通り	米国政府と器材の調達及び装備工事の内容に関して調整を実施し、効率的な予算の執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	− −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0002	トマホークの取得	令和5年度	令和9年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	11,838	96,625	84,787	–	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	− −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0003	島嶼防衛用高速滑空弾の取得	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	–	67,040	67,040	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	防衛 21 − 0146 −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0004	目標観測弾の開発	令和5年度	令和8年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	–	290	290	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	–	− −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0005	島嶼防衛用高速滑空弾（能力向上型）の開発	令和5年度	令和12年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	–	77	77	–	現状通り	・事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。 ・引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	− −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0006	潜水艦発射型誘導弾	令和5年度	令和9年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	–	–	–	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	–	− −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0007	スタンド・オフ・ミサイルに係る国内製造態勢の拡充	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	965	965	–	–	現状通り	原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 新23 − 0010 −	− −	− −		–	–	–			
		新23-0008	極超音速誘導弾の研究	令和5年度	令和13年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・短期アウトカムの成果目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	–	5,547	5,547	–	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、短期アウトカムの記載を適切なものに修正した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	–	防衛 新23 − 0012 −	− −	− −		–	–	–			
	施策名：Ⅰ-1-(2)　統合防空ミサイル防衛能力																														
		再掲												0								− −	− −	− −							
		0005	自動警戒管制組織の弾道ﾐｻｲﾙ対処機能(BMD) 自動警戒管制組織の航空警戒管制機能の近代化	平成14年度	終了予定なし	1,694	1,694	1,694	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	5,353	24,793	19,440	–	現状通り	引き続き原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0065 −	− −	− −		–	–	令和3年度			
		0006	武器修理費（空自）	昭和47年度	終了予定なし	17,850	18,346	16,590	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・一者応札については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	24,270	48,448	24,178	–	執行等改善	一般競争入札の一者応札への対応については、引き続き公示期間を適切に確保するとともに、あらゆる機会を通じて新規参入企業の発掘を行い、より高い競争性の確保に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 特定防衛調達武器車両等の整備に必要な経費	防衛 21 − 0067 −	− −	− −		–	–	令和4年度			
		0007	中距離地対空誘導弾の取得	平成15年度	終了予定なし	11,560	10,942	10,904	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・一般競争入札を実施しているものについては、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。	6,303	41,841	35,538	–	年度内に改善を検討	・事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。 ・調達関係部署と密接に連携し、公平性・透明性の確保等を通じて引き続き競争性の確保に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0091 −	− −	− −		–	–	令和3年度			
		0008	基地防空用SAM	昭和56年度	終了予定なし	2,999	1,750	1,525	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	9,185	4,486	▲4,699	–	現状通り	引き続き原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0095 −	− −	− −		–	–	令和元年度			
		0009	地対空誘導弾ﾍﾟﾄﾘｵｯﾄ	昭和63年度	終了予定なし	9,354	14,976	14,813	・三菱重工業の随意契約（その他）は競争性のない随意契約ではないのでしょうか。該当する場合、その理由の記載をお願いします。事業の必要性は十分理解しますが、効率性については、シートの記載だけでは判断できませんでした。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	32,547	37,459	4,912	–	執行等改善	・ご指摘の随意契約については米国企業からのライセンスに基づくものであり、調達に際しては、会社が保有する権利（ライセンス権）を確認したうえで契約締結している。 ・引き続き原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0103 −	− −	− −		書面点検	その他	平成30年度			
		0010	イージス・システム搭載艦の整備	令和2年度	終了予定なし	35,344	35,344	35,510	・事業終了までに期間を要するため、年度ごとの短期的な目標の設定ができないか検討することも考えられると思います。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、長期アウトカムにおける定性的なアウトカムに関する成果実績について、適切に記載するよう指導した。	35,425	112,533	77,108	–	年度内に改善を検討	年度ごとの短期的な目標の設定ができないか検討する。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛政策局 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 （項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛 21 − 0114 −	− −	− −		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0011	極超音速滑空兵器迎撃システムの研究	令和3年度	令和4年度	42	25	0	・極超音速滑空弾の登場により、これまでの弾道ミサイル防衛のあり方とは全く異なるミサイル防衛システムの構築が望まれるが、問題は地上のレーダーで感知できるのは水平線の上しかなく、極超音速のスピードを考えれば迎撃に必要な時間を確保することは難しい。それだけにミサイル発射を探知する早期警戒衛星、そして滑空弾が移動するプロセスを追いかけていく小型衛星コンスタレーションも必要となっていくだろう。それらとの関係をより詳しく説明する必要あり。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、長期アウトカムにおける定性的なアウトカムに関する成果実績について、適切に記載するよう指導した。	–	–	–	–	予定通り終了	各所見を踏まえ、センサーに係る検討を深化させ、長期アウトカムの実現に向けた取り組みを引き続き行っていく。	–	防衛政策局	一般会計	–	防衛 21 − 0115 −	− −	− −		書面点検	見直しの有無	令和3年度	○		
		0012	次期警戒管制レーダ装置	平成30年度	令和6年度	23,277	1,226	597	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・これまでの事業の必要性や事業進捗における効率性等について、自己点検結果を記載するよう指導した。	3,028	2,998	▲30	–	現状通り	これまでの事業の必要性や事業進捗における効率性等について記載した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0145 −	− −	− −		–	–	令和3年度			
		0013	誘導弾の開発試作	令和元年度	終了予定なし	15,338	15,338	14,483	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	18,758	11,084	▲7,674	–	現状通り	引き続きコスト縮減の余地を検証し、厳格な原価精査や適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上により効率的な予算要求、予算執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0146 −	− −	− −		–	–	令和3年度			
		0014	早期警戒機（Ｅ−２Ｄ）の取得	平成27年度	令和10年度	56,847	56,847	56,847	短期的な目標設定がない中での事業推進には疑問が残ります。Ｅ−２Ｄの納入機数はむしろ短期的な目標設定ではないかと思いました。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されてたい。	76,144	37,427	▲38,717	–	執行等改善	・本事業は我が国周辺の海空域の警戒監視能力強化を目標としており、Ｅ−２Ｄの納入が目標に直接結びつくことから、機体の納入最終年度を本事業の最終年度としたものである。 ・０５整備計画の整備計画数５機について令和５年度に取得したため、６年度概算要求への反映事項はなし。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛 21 − 0160 −	− −	− −		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0015	ＳＭ−３ブロックⅡＡ	平成29年度	終了予定なし	42,132	42,132	42,132	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	16,586	29,715	13,129	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛政策局 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0114 −	− −	− −		–	–	令和4年度			
		0016	ＳＭ−６	令和4年度	終了予定なし	1,012	1,012	1,012	・SM-6の米国からの取得については、従前よりも高度な探知能力や迎撃能力を有することの想定されるミサイルとして、購入の必要性について、一定の理解は可能である。一方で、米国の開発ないし運用成績の共有（日本に対する情報開示）など、ミサイルの購入（更新）や共同訓練にあたって必要性の高い知識の共有も目指し、ミサイルの運用能力の向上も図るべきである。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,690	4,463	2,773	–	年度内に改善を検討	米国との知識の共有を行い、適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0075 −	− −	− −		書面点検	前年度新規	–			
		0017	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾	令和4年度	令和8年度	–	–	–	・令和４年度の事業活動を振り返り、設定した目標に対して現状予定通りの進捗となっているのかを示されたい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	–	6,435	6,435	–	現状通り	令和４年度から開始した試作事業は、現状計画通りに進捗しており、所望の時期までに開発試作は完了する見込みである。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	–	防衛 21 − 0231 −	防衛 21 − 0239 −	− −		書面点検	前年度新規	–			
		0018	将来の弾道ミサイル迎撃体制についての調査研究	不明	終了予定なし	93	93	89	・本事業は度重なる弾道ミサイル実験を繰り返す北朝鮮を念頭に進められているものと思われるが、弾道ミサイルを保有する国はほかにも存在しており、幅広くシミュレーションを行うことが望まれる。また極超音速滑空弾の登場により、従来の弾道ミサイル防衛だけでは不十分な状況ではあるが、弾道ミサイル防衛に対しても怠らずにその能力を高めておくことは重要。北朝鮮のミサイルは年々改良が進んでいるだけに、継続的なシミュレーションが必要。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動目標や成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	96	129	33	–	年度内に改善を検討	所見に従い、極超音速兵器のみならず、従来の弾道ミサイル防衛に資する継続的な研究により対処能力向上に寄与する。 また作成過程における指摘を踏まえ、短期ではあるが事業の達成予定年度とその時点における目標を設定した。	–	防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	− −	− −	− −		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0019	無人機対処に係る調査研究	令和4年度	令和4年度	33	33	7	・無人航空機は新たな手段でもあり、また新たな脅威でもある。そのため本事業は重要なものである。短期アウトカム：調査結果等報告書→長期アウトカム：無人航空機対処システムの選定、導入という評価指標になっているが、報告書は、今年度の活動で直接的に得られるものであるため、アウトカムの設定としてはその結果として得られる価値にできるとより良い計画・評価となると考える。また、報告書が得られた後、システムの選定、導入までにはかなり開きがあると思われるため、その間の項目を中期アウトカムとして設定することも良いと考える。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	–	–	–	–	予定通り終了	・所見を踏まえ、各段階におけるアウトカムについては、短期〜中間〜長期へと段階的に発展できるように、今後検討精査していく。	–	防衛政策局	一般会計	–	防衛 新22 − 0005 −	− −	− −	–	書面点検	前年度新規	–	○		
		再掲																				− −	− −	− −							
		新23-0009	０３式中距離地対空誘導弾（改善型）能力向上型の開発	令和5年度	令和9年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	12,305	8,242	▲4,063	–	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0231 −	− −	− −		–	–	令和3年度			

様式1

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B−A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		新23-0010	移動式警戒管制レーダー装置の整備	令和5年度	令和8年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	384	384	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	−			
		新23-0011	固定式警戒管制レーダー装置（ＦＰＳ−７）への機能付加	令和5年度	令和12年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	−	−	−	現状通り	原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	−			
		新23-0012	固定式警戒管制レーダー装置（ＦＰＳ−５）への機能付加	令和5年度	令和12年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	−	−	−	現状通り	原価監査等を適切に実施し価格面の適正化を図る等効率的な予算執行及び執行・契約実績等を考慮した予算要求に努めていく。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	−			
		新23-0013	統合火器管制ネットワークに係る調査研究に関する経費	令和5年度	令和5年度	−	−	−	・本事業の意義は大きく、ウクライナでも「戦場のウーバー」と呼ばれた効果的な火器統制システムが有効性を証明した。本事業はそうした効率的な戦闘を可能にし、限られたリソースを最大限に活用するとともに、味方の損失を極力少なくする方法でもある。本事業は一刻も早く実現を目指すためにも委託先の進捗管理をしっかり進めることが重要。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	54	−	▲54	−	予定通り終了	所見を踏まえ、急速に変化する安全保障環境に対応できるよう、各種戦訓を取り込み、早期に成果を得られるように委託先を適切に監督指導し、事業を進める。	−	防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 新23 − 0009 −	− −	− −		書面点検	最終実施年度	−			
	施策名：Ⅰ-1-（3）　無人アセット防衛能力																														
		0020	滞空型無人機等の取得(省統一)	平成27年度	令和5年度	−	−	−	・短期的な目標設定のない中での事業推進には疑問が残ります。事業の進捗状況等であれ、一定の評価基準を設定しておくことが望ましいと思います。	終了予定	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	−	−	−	−	予定通り終了	有識者の所見を踏まえ、適切に対応していく。令和5年度にて取得事業終了予定である。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	−	防衛 21 − 0161 −	− −	− −		書面点検	最終実施年度	平成30年度			
		0021	ＵＡＶ（狭域用）の取得	平成28年度	終了予定なし	142	142	136	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	614	614	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	−	防衛 21 − 0020 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0022	ＵＡＶ（中域用）の取得	平成29年度	終了予定なし	1,113	1,113	1,053	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・一部の指標等について、より分かりやすい記載となるよう指導した。	−	8,794	8,794	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	−	防衛 21 − 0020 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0023	機雷捜索用ＵＵＶ（ＯＺＺ−５）の整備	令和2年度	終了予定なし	1,271	1,271	1,251	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	3,400	946	▲2,454	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0011 −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0024	無人機雷排除システムの整備	令和4年度	令和11年度	−	−	−	・引き続き、効率的な取得を図っていく。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	352	1,266	914	−	現状通り	引き続き、効率的な取得を図る。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0011 −	− −	− −		書面点検	前年度新規	−			
		新23-0014	海洋観測用ＵＵＶの整備	令和5年度	令和13年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	−	130	130	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	−	防衛 21 − 0012 −	− −	− −		−	−	−			
	施策名：Ⅰ-1-（4）　領域横断作戦能力																														
		再掲																				− −	− −	− −							
		0025	ファイル暗号化ソフトの維持(10機関共同)	平成22年度	終了予定なし	16	16	16	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一のアウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一者応札、高落札率となっていることから、競争性を高めるための工夫やコスト縮減の余地を検証し、価格面での適正化に努められたい。	19	67	48	−	現状通り	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・競争性を高めるため、有識者（サイバーセキュリティ統括アドバイザー等）から助言をいただき、仕様作成を行い仕様書の平準化に努める。	−	整備計画局 防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛 21 − 0001 −	− −	− −		−	−	令和4年度			
		0026	部外力を活用したサイバーセキュリティの知見向上に関する経費	平成26年度	終了予定なし	477	477	426	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アクティビティ③④について、アウトプットからアウトカムの設定要領について指導した。なお、アクティビティ①③④については、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	1,125	858	▲267	−	執行等改善	アクティビティ③④について、指導に基づきアウトプットからアウトカムを設定した。引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	整備計画局 人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0002 −	防衛 21 − 0003 −	防衛 21 − 0277 −		−	−	令和元年度			
		0027	電磁波領域等を活用した将来の戦闘概念に関する調査・研究に必要な経費	令和3年度	終了予定なし	62	62	53	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	62	58	▲4	−	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果の低下が生じた場合の迅速な改善につなげる。	−	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 21 − 0004 −	− −	− −		−	−	令和4年度	○		
		0028	サイバー攻撃対処能力向上に関する経費	令和4年度	終了予定なし	103	103	74	・成果目標達成に向けて適切な活動が実施されており、引き続きサイバー防衛能力の効果的な強化に努めていただきたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	256	414	158	−	現状通り	引き続きサイバー防衛能力の効果的な強化につながるよう、必要な事業を着実に進めていく。	−	整備計画局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	− −	− −	− −		書面点検	前年度新規	−			
		0029	戦闘機（Ｆ−３５Ａ/Ｂ）の取得	平成24年度	終了予定なし	95,680	95,680	94,377	・価格精査による取得価格の抑制に取り組まれているというが、具体的にどのような取組みをされ、どのような成果があるのかがわかるような説明になっていない。適切な説明が望まれる。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	184,776	304,659	119,883	−	執行等改善	米国政府の主導により実施されているまとめ買いに参画し、機体価格を低減する等、取得戦略計画における平均量産単価等は、見直し基準以下となっている。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0007 −	− −	− −		書面点検	その他	平成30年度			
		0030	戦闘機（F-15）近代化改修/能力向上	平成16年度	令和15年度	9,069	9,069	9,745	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	40,448	81,238	40,790	−	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0009 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0031	武器購入費（海自）	昭和47年度	終了予定なし	19,946	20,132	30,184	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムまでの流れについて、事業の特性に鑑み適切に設定するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現時点においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・予算額と執行額の乖離がみられることから、適正な予算要求に努められたい。	19,443	33,483	14,040	−	年度内に改善を検討	引き続き取得した見積りの精査に努めるとともに、仕様書等において競争性が担保できるよう尽力し、適正な執行に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0011 −	防衛 21 − 0077 −	防衛 21 − 0110 −		−	−	令和元年度			
		0032	諸器材購入費等（海自）	昭和47年度	終了予定なし	14,928	14,017	13,356	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業概要と各アクティビティにおける活動内容との整合性を図るよう指導するとともに、アクティビティ①におけるアウトカムの設定要領等について指導した。なお、アクティビティ①④については、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	22,603	25,663	3,060	−	執行等改善	・既存部品の転活用や修理間隔の見直しにより調達コストの縮減を図るとともに、さらなる一括調達の可能性を追求し、スケールメリットを得られる効率的な調達を実施し、部隊運用の維持に必要な諸器材を更新・整備する。 ・一者応札となる理由について、艦船・航空機関連部品は、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品や民生品の使用可否等について情報収集に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0012 −	防衛 21 − 0059 −	防衛 21 − 0120 −	防衛21-0274	−	−	令和4年度			
		0033	武器修理費（海自）	昭和43年度	終了予定なし	29,982	30,085	21,751	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業については、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	14,141	16,588	2,447	−	年度内に改善を検討	引き続き仕様書等において競争性が担保できるよう改善を検討し、効率的な執行に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0013 −	防衛 21 − 0079 −	防衛 21 − 0080 −		−	−	令和元年度			
		0034	諸器材等維持費等（海自）	昭和29年度	終了予定なし	28,252	28,366	21,584	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業概要と各アクティビティの整合を図るよう指導するとともに、アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、アクティビティ①③④については、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	42,650	54,237	11,587	−	執行等改善	・限られた予算でより効果的な成果が得られるよう執行実績の調査分析を実施するとともに、競争性の確保を追求することで調達価格の低減を図り、部隊運用の持続性を維持する。 ・一者応札となる理由について、艦船・航空機関連部品は、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品や民生品の使用可否等について情報収集に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 特定防衛調達武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0014 −	− −	− −		−	−	令和4年度			
		0035	新規車両購入	平成18年度	終了予定なし	83	104	79	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,539	3,467	1,928	−	現状通り	引き続き効率的な予算執行・予算要求に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0016 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0036	甲類（戦車）	平成2年度	終了予定なし	8,450	8,426	8,443	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動内容や活動目標等における表現の統一について指導するとともに、アウトプットからアウトカムまでの流れが適切になるよう指導した。なお、本事業は活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	6,992	10,651	3,659	−	現状通り	引き続き効率的な予算執行・予算要求に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0017 −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0037	甲類（火砲）	昭和62年度	終了予定なし	4,156	4,156	4,088	契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等が行われていることが実際に効率性に結び付いているのかが判断できない。適切な説明が求められる。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、アウトカムの政策目標の設定理由について、アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。	4,597	6,500	1,903	−	現状通り	具体的な数量は自衛隊の勢力に係るため金額ベースでの公表となるものの、契約実績やコスト低減方策について特に成果として現れた事項を説明できるように努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0018 −	− −	− −		書面点検	その他	平成30年度			
		0038	乙類（化学器材）	平成17年度	終了予定なし	1,711	2,702	2,671	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	2,750	8,050	5,300	−	年度内に改善を検討	一般競争における一者応札の要因を分析し、競争性を確保した適切な執行に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0019 −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0039	乙類（通信器材）	昭和55年度	終了予定なし	25,589	20,295	19,997	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一のアウトカムのみを設定することは妥当である。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	14,827	7,911	▲6,916	−	執行等改善	・引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・繰越の要因は、半導体不足により部品供給に長期間を要したため納期の遅延が発生したためであり、引き続き、一般競争入札及び公募にあたっては、適切な契約履行期間を設定し効率的な予算執行に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0020 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0040	乙類（施設器材）	平成17年度	終了予定なし	6,617	2,505	2,048	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	2,560	6,100	3,540	−	年度内に改善を検討	一般競争で一者応札の契約について、要因分析し、競争性を確保した適切な執行に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0021 −	− −	− −		−	−	令和4年度			
		0041	通信機器購入費（海自）	不明	終了予定なし	28,651	27,842	30,997	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。なお、アクティビティ①については、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	25,603	47,076	21,473	−	執行等改善	・既存部品の転活用や修理間隔の見直しにより調達コストの縮減を図るとともに、さらなる一括調達の可能性を追求し、スケールメリットを得られる効率的な調達を実施し、通信に必要な諸機器を更新・整備する。 ・一者応札となる理由について、艦船・航空機関連部品は、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品や民生品の使用可否等について情報収集に努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 − 0024 −	防衛 21 − 0119 −	− −		−	−	令和3年度			
		0042	情報業務用車両の更新及び修理維持	平成24年度	終了予定なし	9	9	9	・一定数の随意契約発生については説明されているが、競争性確保に向けた取組みについて引き続き強化されたい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、アウトカムの政策目標の設定理由について、アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。	19	6	▲13	−	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、競争性確保に向けた取組みにも取り組んでいきたい。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0030 −	防衛 21 − 0053 −	− −		書面点検	その他	平成30年度			
		0043	通信機器の修理等	平成11年度	終了予定なし	4,365	4,429	4,325	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	5,904	2,698	▲3,206	−	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 − 0035 −	− −	− −		−	−	令和4年度			

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度 補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度 当初予算額 A	令和６年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0044	装輪車両の修理費の取得	平成12年度	終了予定なし	3,375	3,537	3,514	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・アクティビティからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	5,130	4,047	▲1,083	－	現状通り	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0026 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0045	Ｋｕバンド衛星通信用経費	平成18年度	終了予定なし	5,780	5,780	5,780	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	－	3,794	3,794	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　21 － 0044 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0046	車両一般整備費（空自）	平成17年度	終了予定なし	1,913	1,913	1,859	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	2,380	2,648	268	－	現状通り	引き続き適切な予算執行及び予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0049 －	防衛　21 － 0050 －	－ －		－	－	令和4年度			
		0047	施設車両整備費	平成17年度	終了予定なし	298	298	281	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一者応札が相当数見受けられるので、応札者拡大のため努力されたい。	279	435	156	－	年度内に改善を検討	一般競争における一者応札の要因を分析し、競争性を確保した適切な執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0051 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0048	通信維持費（空自）	昭和37年度	終了予定なし	49,729	47,566	42,377	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムまで、の流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	74,840	70,660	▲4,180	－	執行等改善	競争性の向上について、引き続き複数社の見積もりの取得するとともに、要求内容の工夫等により幅広く企業が参入できるよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0056 －	防衛　21 － 0056 －	－ －		－	－	令和2年度			
		0049	通信機器購入費（陸自）	昭和29年度	終了予定なし	5,526	5,105	4,938	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	9,140	14,383	5,243	－	執行等改善	・引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・繰越の要因は、半導体不足により部品供給に長期間を要したための納期の遅延が発生したためであり、引き続き、一般競争入札及び公募にあたっては、適切な契約履行期間を設定し効率的な予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0060 －	防衛　21 － 0023 －	防衛　21 － 0170 －		－	－	令和元年度			
		0050	諸器材購入費等（陸自）	昭和29年度	終了予定なし	15,696	13,551	12,019	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	4,804	29,053	24,249	－	執行等改善	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0062 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0051	通信維持費（陸自）	昭和55年度	終了予定なし	17,614	17,565	17,453	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一者応札については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	28,951	49,511	20,560	▲18	縮減	・引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・一者応札の要因については、当初開発に携わった事業者が関連技術・ノウハウを先行的に有することで競争力が高い等の理由が考えられるが、引き続き、一者応札を改善するよう、過去の契約状況の分析、公告期間等の長期化、仕様書記載情報の改善などについて検討し競争性の向上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0063 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0052	スタンド・オフ電子戦機	令和2年度	令和8年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	7,916	22,021	14,105	－	現状通り	・事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛　21 － 0071 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0053	次期電子情報収集機の情報収集システムの研究試作	令和3年度	令和7年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	短期アウトカムにおける定性的なアウトカムに関する成果実績の記載内容について、具体的な記載をするよう指導した。	－	4,246	4,246	－	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、具体的な成果実績を記載した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　21 － 0073 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0054	艦船修理費（海自）	昭和40年度	終了予定なし	125,756	126,879	118,114	・例えば、JMUとの間で複数の定検に係る契約が行われているが、一括契約を行うことによるコスト低減の可能性はないか等、コスト低減の努力が十分であるかが分からない。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、各成果目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	190,871	174,355	▲16,516	－	年度内に改善を検討	複数艦一括契約は過去に検討したものの、可動隻数を確保する観点から同時期の工期設定は不可能であり、２艦目以降で行動等による工期変更がある場合に手続きが煩雑化する（場合によっては契約解除）などの理由で採用に至っていない。引き続き契約方式の検討等を行い、効率的な執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0089 －	防衛　21 － 0079 －	防衛　21 － 0081 －	防衛21-0178	書面点検	その他	平成30年度			
		0055	地対艦誘導弾の取得	平成15年度	終了予定なし	3,313	2,291	2,134	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	事業目的の記載等について、国民に理解容易なよう具体的な記載に修正するよう指導した。	2,630	78,763	76,133	－	年度内に改善を検討	事業目的の記載等について、記載内容を具体的に記載する等反映を行った。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0090 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0056	潜水艦（SS）	平成22年度	終了予定なし	50,035	49,143	48,853	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、長期アウトカムにおける成果目標の設定について、適切な設定とするよう指導した。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	76,330	84,498	8,168	－	執行等改善	・長期アウトカムの成果目標を適切な設定になるよう修正した。 ・一般競争における一者応札については、引き続き競争性の向上に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）令和元年度潜水艦建造費 （大事項）令和元年度潜水艦建造に必要な経費 （項）令和２年度潜水艦建造費 （大事項）令和２年度潜水艦建造に必要な経費 （項）令和３年度潜水艦建造費 （大事項）令和３年度潜水艦建造に必要な経費 （項）令和４年度潜水艦建造費 （大事項）令和４年度潜水艦建造に必要な経費 （項）令和５年度潜水艦建造費 （大事項）令和５年度潜水艦建造に必要な経費	防衛　21 － 0100 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0057	掃海艦艇（ＭＳＯ、ＭＳＣ）	平成23年度	終了予定なし	2,041	2,041	2,031	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	8,954	8,517	▲437	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛　21 － 0101 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0058	甲類（その他）	平成17年度	終了予定なし	1,689	1,689	1,687	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,583	14,515	12,932	－	現状通り	引き続き、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0104 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0059	乙類（武器器材）	平成17年度	終了予定なし	838	812	754	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	1,569	5,821	4,252	－	年度内に改善を検討	一般競争で一者応札の契約について要因分析し、競争性を確保した適切な執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0105 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0060	Ｔ７００エンジンの整備	平成16年度	令和5年度	－	－	－	・適切な成果目標を設定しており、評価できると思いますが、複数の目標設定ができない理由として85年で事業が終了すると記載されているのは、事業期間が短く複数の目標設定にはそぐわないという意味でしょうか。	終了予定	外部有識者所見をお踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	152	－	▲152	－	予定通り終了	外部有識者所見のとおり、事業期間が短いことから複数目標を設定していない。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0116 －	－ －	－ －		書面点検	最終実施年度	令和4年度			
		0061	被服購入等に係る経費	昭和27年度	終了予定なし	5,610	8,313	5,694	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アクティビティからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・執行率が低調のため、執行状況を予算に反映されたい。	15,455	21,526	6,071	－	執行等改善	・各種事項について継続的な検討を実施しつつ、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費	防衛　21 － 0111 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0062	多用途ヘリコプターの取得	令和元年度	終了予定なし	2,154	4,943	4,922	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムまでの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	4,040	27,338	23,298	－	年度内に改善を検討	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛　21 － 0121 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0063	航空機搭載通信機器維持・通信部品	昭和47年度	終了予定なし	5,821	5,770	3,625	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・活動内容に沿って事業進捗を確認できる成果指標を設定するよう指導した。 ・執行率が低調のため、適正な予算要求に努められたい。	5,567	8,569	3,002	－	執行等改善	・成果指標を用いて事業進捗の確認を進める。 ・執行率改善に向け、引き続き、適切な需要予測による予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0122 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0064	輸送ヘリコプター（ＣＨ－４７Ｊ Ａ）の取得	平成5年度	終了予定なし	7,650	7,491	6,563	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・装備の取得のようにその活動が目的に直結するような事業については、複数のアウトカムを設定することが難しい場合、無理に複数段階の成果指標を設定せず、アウトプットからシンプルに成果を確認できる記載内容とするよう指導した。	6,687	14,220	7,533	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛　21 － 0123 －	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0065	乙類（航空機）	昭和39年度	終了予定なし	575	256	189	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定年度がない継続した事業であることから、これまでの事業の必要性や連携において事業を効率的に実施してきた点などについて、自己点検結果を記載するよう指導した。なお本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,069	3,092	2,023	－	年度内に改善を検討	・事業の必要性及び効率的な実施について、自己点検要領について検討を図る。また、引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛　21 － 0124 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0066	ティルト・ローター機（Ｖ－２２）の取得	平成30年度	終了予定なし	－	283	283	・適切な成果目標を設定しており、評価できる。	現状通り	装備の取得はその活動が最終的な事業目的に直結するため、複数のアウトカムを設定することが難しいことから、無理に複数段階の指標を設定せず、アウトプットから事業成果を確認できる流れとするよう指導した。	－	－	－	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　21 － 0131 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0067	機体オーバーホール	昭和44年度	終了予定なし	5,732	5,139	5,864	・適切な成果目標を設定しており、評価できる。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	7,158	2,539	▲4,619	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0132 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0068	発動機オーバーホール	昭和47年度	終了予定なし	4,753	4,026	5,067	・同一企業に対する発注も多いため、契約を集約する等による効率化の余地がなかったのかは判断できませんでした。	事業内容の一部改善	終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお今後は、有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	4,822	9,137	4,315	－	執行等改善	可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値の設定について、新たな成果実績及び目標値の反映を行った。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0133 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0069	遠距離探索機（ＬＲ－２）の取得	平成26年度	終了予定なし	－	200	195	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・終了予定年度が定まっていない事業ではあるが、事業効果及び取得実績を意識する目標年度を設定することについて指導した。	－	－	－	－	現状通り	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　21 － 0081 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0070	航空機搭載通信機器維持修理	昭和47年度	終了予定なし	4,799	4,745	4,208	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、現状において事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	7,763	8,547	784	－	執行等改善	目標最終年度に向け、包括的な契約の実施等より、調達の効率化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21 － 0082 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0071	護衛艦（ＦＦＭ）	令和元年度	終了予定なし	80,474	75,690	74,615	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	97,128	158,283	61,155	－	年度内に改善を検討	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）特定防衛調達武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費 （項）令和２年度甲Ｖ型警備艦建造費 （大事項）令和２年度甲Ｖ型警備艦建造に必要な経費 （項）令和３年度甲Ｖ型警備艦建造費 （大事項）令和３年度甲Ｖ型警備艦建造に必要な経費 （項）令和４年度甲Ｖ型警備艦建造費 （大事項）令和４年度甲Ｖ型警備艦建造に必要な経費 （項）令和５年度甲Ｖ型警備艦建造費 （大事項）令和５年度甲Ｖ型警備艦建造に必要な経費	防衛　21 － 0139 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0072	多目的監視レーダ	令和2年度	令和6年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,838	2,522	684	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛　21 － 0142 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0073	９２式信管のフォローアップ	平成30年度	令和4年度	1,810	1,810	1,334	・外部有識者抽出点検の対象外である。	終了予定	・本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	－	－	－	－	予定通り終了	・指摘のあった改善事項については、類似事業を実施する際に反映して参りたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	防衛　21 － 0143 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			

様式1

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0074	回転翼哨戒機（能力向上型）の開発	平成27年度	令和5年度	635	1,044	1,160	・本事業については、試作が完了し、隊使用承認に向けて、飛行試験を実施できている点が評価できる。ただし、今後同様の事業がある場合には、アウトカムとして、「回転翼哨戒機のXX能力向上」のように何の能力が向上するのか。また、その能力向上によってどのような点において、対潜戦の優位性を確保することができるのか等を明確にしておくことにより、より定量的・具体的なアウトカムも設定可能になるかと考える。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	2,210	－	▲2,210	－	予定通り終了	成果実績を具体的に記述した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛21－0154－	－ －	－ －		書面点検	最終実施年度	平成30年度			
		0075	次期装輪装甲車技術の研究	令和元年度	令和4年度	3,102	3,102	2,725	・外部有識者抽出点検の対象外である。	終了予定	本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業については予定通り終了となるが、行政事業レビュー推進チームの所見のとおり、本事業で得られた知見を類似事業に適宜反映していきたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	防衛21－0155－	防衛21－0231－	－ －		書面点検	その他	令和3年度			
		0076	水陸両用車の研究及び開発	平成29年度	終了予定なし	3,583	3,523	3,523	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されていると考えられる。 ・点検結果について、有効性、効率性の記載について不足が見受けられるため、丁寧な記載と説明により国民の理解を得られるよう、記載内容を見直されたい。	2,855	－	▲2,855	－	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、事業活動の進捗について、国民の理解を得られるよう、より可視化・透明化できるように努めるとともに、無人水陸両用車の開発に向けて効率的かつ事業コストを抑えた形で実現して参りたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛21－0156－	防衛21－0231－	－ －		－	－	令和2年度			
		0077	固定翼哨戒機（Ｐ－１）の取得	平成19年度	終了予定なし	24,939	18,882	18,823	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	62,116	104,212	42,096	－	現状通り	引き続き、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛21－0157－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0078	車両更新（空自）	平成22年度	終了予定なし	1,523	1,710	1,702	・車齢２５年を超える車両の保有台数が何台（あるいは全体の何%）であるのかを踏まえ、今年度（R５年度３６３台）及び今後の計画の位置づけを説明すべきと思われる。老朽車両の更新にあたり、単なる車齢だけでなく、これまでの稼働状況や今後の稼働予定を精査し、今後も自衛隊として所有する必要性の高い車両・車種の優先順位を明確にする必要がある。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	2,431	9,291	6,860	－	年度内に改善を検討	保有車両のうち、車齢２５年を超える車両は全体の１８％あり、令和５年度及び６年度において、主にペトリオットの車両を更新（車齢平均２９年）するものである。また、老朽車両の更新にあたっては、車齢の他、部隊の任務、車両の走行距離及び修理可否等を踏まえて優先順位付けしており、引き続き、更新車両の精査に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0169－	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0079	艦船需品の整備	昭和29年度	終了予定なし	1,823	1,895	1,173	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	2,239	3,345	1,106	－	執行等改善	・各種事項について継続的な検討を実施しつつ、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0171－	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0080	護衛艦（DD）	平成21年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・現状課題については、現在、事業を実施している中で直面する課題を整理して記載するよう指導した。なお、本事業は活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	－	－	－	－	年度内に改善を検討	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛21－0173－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0081	支援船	平成25年度	終了予定なし	5,654	5,654	5,419	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,157	333	▲824	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛21－0174－	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0082	救難ヘリコプター（UH－６０Ｊ）の取得	平成23年度	終了予定なし	467	467	477	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業概要については、事業の目的と重複した内容を避けるとともに、活動内容に対応した内容とするよう指導した。 ・一括取得等によるコスト削減が見受けられる。引き続き効率的な予算執行・予算編成に努められたい。	18,359	31,309	12,950	－	現状通り	・作成過程における指摘を踏まえ、事業の目的と重複した内容を避けるとともに、活動内容に対応した内容を設定した。 ・引き続き効率的な予算執行・予算編成に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 特定防衛調達航空機の購入に必要な経費 航空機の整備維持に必要な経費	防衛21－0177－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0083	一般用救命装備品等	平成17年度	終了予定なし	995	995	1,606	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・執行率が低調であるため、要因を分析し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	1,360	1,910	550	－	執行等改善	・各種事項について継続的な検討を実施しつつ、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0179－	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0084	音響測定艦（ＡＯＳ）	平成29年度	令和7年度	137	137	136	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	459	3,333	2,874	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛21－0181－	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0085	乙類（車両）	平成17年度	終了予定なし	8,910	9,892	9,835	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業概要は、直面する事業の現状や課題に対してどのように解決するかを記載するとともに、成果実績を得るために当該解決策にどのように取組むのか、について記載するよう指導した。 ・引き続き一者応札になっている要因を分析し、競争性の向上に努められたい。	3,780	5,229	1,449	－	執行等改善	・事業概要は、現状に対する課題や解決策等を記載するとともに、調達においては、民生品や汎用品の活用し、競争性を高められるよう仕様書の一部改正を実施した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0183－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0086	輸送機（Ｃ－２）の取得	平成23年度	終了予定なし	12,244	12,210	10,586	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・装備の取得はその活動が最終的な事業目的に直結するため、複数のアウトカムを設定することが難しいことから、無理に複数段階の指標を設定せず、アウトプットから事業成果を確認できる流れとするよう指導した。	44,213	9,618	▲34,595	－	現状通り	引き続き、航空機の取得に向けた事業の進捗について確認していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費 航空機の整備維持に必要な経費	防衛21－0184－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0087	乙類（需品器材）	昭和29年度	終了予定なし	5,264	5,807	3,433	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	3,613	10,345	6,732	－	執行等改善	・各種事項について継続的な検討を実施しつつ、効率的な予算要求、予算執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0185－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0088	通信機器購入費（空自）	昭和47年度	終了予定なし	22,505	15,317	17,918	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	51,041	26,006	▲25,035	－	現状通り	指摘のとおり年度のその目標値を設定した。引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0189－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0089	諸器材購入費等（空自）	不明	終了予定なし	12,189	11,107	9,864	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果指標は、事業の進捗が順調か否かを測ることができる指標とするよう指導した。	21,874	33,879	12,005	－	現状通り	基地機能発揮の基盤となる事業であり、引き続き、事業の推進を図っていく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0066－	防衛21－0187－	防衛21－0190－	防衛21-0192	－	－	令和3年度			
		0090	諸器材等維持費（空自）	不明	終了予定なし	19,240	19,954	9,031	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・成果指標は、事業の進捗が順調か否かを図ることができる指標とするよう指導した。 ・令和４年度の執行率が低調であるため、要因を分析し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	24,210	24,911	701	－	執行等改善	基地機能発揮のためにあらゆる維持部品の取得がなされている事業である。執行率については、来年度は予算の再執行状況も踏まえ執行率を上げていく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛21－0191－	防衛21－0194－	－ －		－	－	令和3年度			
		0091	「いずも」型護衛艦の改修	令和2年度	令和9年度	556	556	556	・護衛艦の改修による多用途化や既存機能の強化の必要性について具体的な記述がされており、離島防衛など、これからの多様な防衛能力の配備に向けた改修として意義を理解できる。一方で、様々な改修項目があるものの、F-35Bの運用の長期アウトカムが２回にとどまるなど、想定する稼働状況（稼働率）が少なく、費用対効果を高める工夫が必要である。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	15,359	5,623	▲9,736	－	年度内に改善を検討	F-35の運用は、本事業の改修が終了してから増加する。費用対効果を高めるために、引き続き精緻化を検討する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛21－0014－	防衛21－0024－	防衛21－0045－	防衛21-0089	書面点検	その他	平成30年度			
		0092	１６式機動戦闘車の取得	平成28年度	終了予定なし	21,473	21,473	20,693	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	15,249	18,308	3,059	－	現状通り	・引き続き、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0104－	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0093	２０式５．５６mm小銃	令和2年度	終了予定なし	353	353	381	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	747	4,775	4,028	－	現状通り	・引き続き、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0104－	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0094	Ｆ－２能力向上改修	令和2年度	令和13年度	2,609	2,609	2,601	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	2,180	－	▲2,180	－	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛21－0197－	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0095	各種トラック等	平成17年度	終了予定なし	1,857	1,857	1,840	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	2,238	29,028	26,790	－	現状通り	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0183－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0096	指揮統制に関するシステム等の整備（海上自衛隊指揮統制・共通基盤システム等）	平成28年度	終了予定なし	5,834	5,949	5,966	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	10,342	31,493	21,151	－	現状通り	指摘を踏まえ、活動目標の記載内容を修正した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0097	除染車	平成17年度	終了予定なし	91	14	14	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、成果指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	95	1,401	1,306	－	現状通り	引き続き、効率的な予算要求および執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛20－0019－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0098	ＵＰ－３Ｄの能力向上	平成30年度	令和10年度	3,772	378	83	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標や成果目標の記載内容について、適切に記載するよう指導した。 ・執行率が低調であり、繰越が継続しているため要因を分析し、執行状況を予算に反映、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	9	5,884	5,875	－	執行等改善	繰越要因を分析し、予算執行の改善に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛21－0137－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0099	ソノブイの整備	平成17年度	終了予定なし	5,670	5,670	5,393	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	6,485	8,700	2,215	－	現状通り	適正な活動目標を設定し、引き続き事業の効率化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛21－0014－	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0100	可変深度ソーナーシステムの整備	令和3年度	令和9年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果目標の設定理由について、長期アウトカムへのつながりが分かるよう、適切に記載するよう指導した。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	－	4,544	4,544	－	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛21－0011－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0101	宇宙領域把握（ＳＤＡ）の強化	令和2年度	令和8年度	4,776	4,776	4,754	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動内容について、具体的な活動を適切に記載するよう指導した。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	27,283	6,704	▲20,579	－	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、活動内容について適切な記載となるよう修正を行った。また、引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛21－0189－	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0102	宇宙政策立案の知見を得るための調査研究及び関連する技術課題の解消に向けた検証	令和2年度	終了予定なし	233	197	181	・世界の動向を見ても、安全保障に係る宇宙能力の強化は必須のものであり、それに対応するための本事業は非常に重要である。本事業は、成果目標を達しており評価できる。ただし、来年度の額はまだわかっていないが、契約件数が減少予定であることが懸念される。また、宇宙技術は日々変化しており、国内外の宇宙に係る政策や技術動向を把握は継続性が重要である。さらに、政策実現に必要な技術実証も多岐に渡るため、複数年にわたり計画的に実施し続けることが必要と考えられる。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、事業を実施する上での課題や、それを解決する活動内容及び成果目標等については概ね適切に整備されている。	4,316	11,144	6,828	－	現状通り	引き続き、国内外の宇宙に係る政策や技術動向の把握に努めるとともに、政策実現に必要な技術実証等を計画的に実施するよう努める。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛21－0010－	防衛新22－0001－	防衛新22－0002－	防衛21-0010 防衛新23-0001 防衛新23-0002 防衛新23-0003 防衛新23-0005	書面点検	見直しの有無	－	○		

様式1

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況	反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0103	電磁波管理機能の整備	令和2年度	終了予定なし	56	56	41	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動内容や活動指標等について、適切に記載するよう指導した。 ・執行率が低調のため、執行状況を予算に反映されたい	398	1,356	958	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努めるとともに、適切な予算要求及び執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0014 –	防衛 21 – 0063 –	– –		–	–	令和3年度			
		0104	諸外国とのサイバー分野における連携強化	令和2年度	終了予定なし	112	103	68	成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、事業を実施する上での課題や、それを解決する活動内容及び成果目標等については概ね適切に整備されている。	190	317	127	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、引き続き効率的に事業を推進していく。	–	整備計画局 人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 21 – 0277 –	防衛 新22 – 0003 –	– –		書面点検	見直しの有無	–			
		0105	海洋観測艦（AGS）	令和4年度	令和7年度	185	185	185	1983年に建造した海洋観測艦の除籍予定時期（2025年）に併せた海洋観測艦の更新であり、必要な海洋調査を継続する上で、重要性が高い。 GCIP(総利益率)の重複（下請業者の利益率に主契約業者の利益率を上乗せすること）を問題視しているとのことで、引き続き実態の把握と調査を進め、有効な調達方法を確立していただきたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	461	6,814	6,353	–	現状通り	ＧＣＩＰの重複について、引き続き実態の把握と調査を進め、有効な調達方法の見直しに努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛 新22 – 0009 –	– –	– –		書面点検	前年度新規	–			
		0106	武器購入費（空自）	令和元年度	令和4年度	439	438	405	・外部有識者抽出点検の対象外である。	終了予定	本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	–	–	–	–	予定通り終了	本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映する。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	防衛 新22 – 0007 –	– –	– –		–	–	–			
		0107	サイバー防護分析装置の整備	平成19年度	終了予定なし	1,216	1,216	1,213	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	2,416	2,781	365	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。また、活動目標の記載内容について指導に基づき修正した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0027 –	– –	– –		–	–	令和4年度			
		新23-0015	リスク管理枠組み（RMF）関連事業経費	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	30,098	32,508	2,410	–	現状通り	引き続き事業の活動成果の効果を適切に測定できるよう適切な指標設定に努める。また、引き続き適切な予算要求及び予算執行に努める。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費 （項）地方防衛局 （大事項）地方防衛局一般行政に必要な経費	防衛 新23 – 0006 –	– –	– –		–	–	–			
		新23-0016	戦闘装着セット	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	6,576	7,117	541	–	現状通り	・各種事項について継続的な検討を実施しつつ、効率的な予算要求、予算執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	– –	– –	– –		–	–	–			
		新23-0017	ドーザ（装甲付き）	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動内容等について、適切に記載するよう指導した。 ・点検結果について、必要性、効率性、有効性の記載について不足が見受けられるため、丁寧な記載と説明により国民の理解を得られるよう、記載内容を見直されたい。	–	–	–	–	年度内に改善を検討	指摘事項を踏まえつつ、適切かつ最適な形で成果目標を達成できるように努めていきたい。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	– –	– –	– –		–	–	–			
		新23-0018	宇宙作戦指揮統制システム等の整備	令和5年度	令和11年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動目標や成果目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	–	–	–	–	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、活動目標や成果目標等の記載内容について修正を行った。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	– –	– –	– –		–	–	–			
		新23-0019	哨戒艦	令和5年度	令和8年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果目標の設定理由について、長期アウトカムへのつながりが分かるよう、適切に記載するよう指導した。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	51	4,392	4,341	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛 新23 – 0011 –	– –	– –		–	–	–			
		新23-0020	指揮統制・情報関連機能（陸自）	令和5年度	終了予定なし	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、長期アウトカムの成果指標について、適切に記載するよう指導した。	6,755	14,049	7,294	–	現状通り	・引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。作成過程における指摘を踏まえ、長期アウトカムの成果目標を設定した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	– –	– –	– –		–	–	–			
	施策名：Ⅰ-1-（5） 指揮統制・情報関連機能																														
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		再掲																				– –	– –	– –							
		0108	中央指揮システムの個別維持（中央システム）	平成12年度	終了予定なし	10,939	10,444	10,162	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・アクティビティからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	7,637	24,684	17,047	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0025 –	防衛 21 – 0026 –	– –		–	–	令和2年度			
		0109	通信維持費等（統幕）	平成12年度	終了予定なし	10,721	10,721	9,851	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。なお、各アクティビティについて、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	16,187	24,096	7,909	–	執行等改善	競争性の向上について、引き続き複数社の見積もりの取得するとともに、要求内容の工夫等により幅広く企業が参入できるよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0027 –	防衛 21 – 0028 –	防衛 21 – 0029 –	防衛21-0052	–	–	令和元年度			
		0110	指揮所の近代化(ハードウェアの整備)	平成5年度	終了予定なし	10,430	10,430	9,863	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動内容欄と活動目標及び活動指標欄の内容について整合性のある記載とするよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	10,855	12,851	1,996	–	現状通り	・活動内容欄と活動目標及び活動指標欄の内容について整合性のある記載とするよう修正した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0034 –	– –	– –		–	–	令和4年度			
		0111	通信維持費（海自）	昭和30年度	終了予定なし	27,068	27,263	22,274	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アクティビティ①～④については、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一者応札については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	26,637	36,989	10,352	–	執行等改善	・限られた予算でより効果的な成果が得られるよう執行実績の調査分析を実施するとともに、競争性の確保を追求することで調達価格の低減を図り、部隊通信の持続性を維持する。 ・一者応札となる理由について、艦船・航空機関連部品は、安全性及び信頼性等を確保するため、関連法令やメーカーとの技術提携等に基づいた部品が必要なため扱える企業が限られてしまう場合が多くなりがちであるが、代替品や民生品の使用可否等について情報収集に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0045 –	防衛 21 – 0045 –	防衛 21 – 0079 –		–	–	令和2年度			
		0112	防衛情報通信基盤（DII）の整備	平成13年度	終了予定なし	46,342	46,262	43,967	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	アウトカムの政策目標の設定理由について、アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	45,972	50,492	4,520	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局 人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経 （項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の運営に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛 21 – 0055 –	防衛 21 – 0227 –	– –		–	–	令和4年度			
		0113	多重通信網の周波数移行の進捗に係る支援等	令和元年度	令和7年度	11	11	6	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	11	11	–	–	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 21 – 0112 –	– –	– –		–	–	令和3年度			
		0114	海上航空作戦指揮統制システムの整備	平成19年度	終了予定なし	1,557	1,762	1,557	・短期アウトカムの設定が当該事業のみの成果と言い得るのか疑問が残るところもある。ただし、短期の目標を設定しようとする姿勢は評価できる。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	2,122	1,550	▲572	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0162 –	– –	– –		書面点検	その他	平成30年度			
		0115	地域通信処理システム用器材の借料	平成18年度	終了予定なし	2,744	2,744	2,744	・海上自衛隊における円滑な作戦指揮等を支援する重要な通信基盤であり、引き続き適切な課題把握とアクティビティの設定を維持されたい。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	1,610	1,225	▲385	–	現状通り	引き続き、事業を効率的に進めることに加え、効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0163 –	– –	– –		書面点検	その他	平成30年度			
		0116	海上作戦部隊指揮統制支援システム用器材（借上）	平成14年度	終了予定なし	1,483	1,483	1,483	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,483	3,432	1,949	–	執行等改善	指摘のとおり年度とその目標値を設定した。引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0164 –	– –	– –		–	–	令和元年度			
		0117	対潜資料隊用器材の借上げ	平成3年度	終了予定なし	1,721	1,721	1,223	・海洋・音響データを活用するシステムを継続的に運用する事業目的のもと、機材を借り上げる費用とのことである。比較的汎用性が高いと思われる機材の借上げであるが、随意契約を行うことの必要十分な背景についても説明が必要と思われる。	事業内容の一部改善	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,621	1,986	365	–	縮減	検討の結果、一部事業を縮小することで、概算要求の減額を行った。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 – 0166 –	– –	– –		書面点検	その他	平成30年度			
		0118	情報システム等の取得に関する検討	平成27年度	終了予定なし	145	145	141	・令和５年度においても引き続き、指揮通信系の情報システム等に係る経費を効率的かつ効果的に使用し、かつ必要な防衛力整備に資するよう取り組む。	現状通り	これまでの事業進捗から、事業の必要性や効率的な実施などの視点から自己点検結果を記載するよう指導した。	149	–	▲149	–	廃止	これまでの実績等を踏まえ、今後の事業の必要性等を検討した結果、事業を廃止することとした。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 21 – 0252 –	– –	– –		書面点検	見直しの有無	令和元年度			

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0119	情報システムの維持・整備	不明	終了予定なし	3,888	3,697	3,952	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	10,250	21,949	11,699	－	現状通り	指摘のとおり、活動指標等を記載した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0014 －	防衛 21 － 0024 －	防衛 21 － 0027 －	防衛21-0045	－	－	令和元年度			
		0120	情報資料の収集・整理	不明	終了予定なし	299	299	258	・長期アウトカムの達成判断のため、より具体的な成果目標の設定を検討されたい。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	497	721	224	－	年度内に改善を検討	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛政策局 整備計画局 防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0271 －	防衛 21 － 0272 －	防衛 21 － 0014 －	防衛21-0027 防衛21-0045 防衛21-0191 防衛21-0277	書面点検	その他	平成30年度			
		0121	情報収集・分析用器材の維持・整備	昭和30年度	終了予定なし	343	343	336	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、成果指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	336	5,645	5,309	－	現状通り	指摘のとおり、成果指標等を記載した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0012 －	防衛 21 － 0045 －	防衛 21 － 0056 －		－	－	令和3年度			
		0122	電波情報収集機（ＲＣ－２）の取得	令和4年度	終了予定なし	－	－	－	アクティビティ①については、成果目標を達成している。長期アウトカムの達成に向け、引き続き効率的に継続されたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	－	5,162	5,162	－	現状通り	長期アウトカムの達成に向け、引き続き効率的な予算執行・予算編成に努めるとともに、作成過程における指摘をふまえ、活動指標等について、適切に記載した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛 新22 － 0004 －	－ －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	－			
		再掲	指揮統制・情報関連機能（陸自）											－	－							－ －	－ －	－ －		－	－	－			
施策名：Ⅰ-1-（6） 機動展開能力・国民保護																															
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0123	救難飛行艇（ＵＳ－２）の取得	平成17年度	終了予定なし	－	2,908	2,908	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	－	8,418	8,418	－	現状通り	引き続き、事業を効率的に進めることに加え、効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛 21 － 0117 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0124	民間海上輸送力活用に係わるPFI事業	平成27年度	令和7年度	2,701	2,701	2,697	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・財務省予算執行調査の指摘を踏まえ、効率的・効果的な事業実施に努められたい。	2,775	3,120	345	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努めるとともに、適切な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）民間資金等を活用した船舶の維持管理及び運営に必要な経費	防衛 21 － 0159 －	防衛 21 － 0158 －	－ －		－	－	令和元年度			
		0125	空中給油・輸送機（ＫＣ－４６Ａ）の取得	平成28年度	終了予定なし	12,443	12,443	12,284	米国のFMS調達によらなければならないとされているが、FMSの契約額が、本件含め、急増していることから、米国（米国企業）の装備品調達に関する合理的かつ経済的な選択がなされているか、精査が必要である。現有機の稼働状況、現有のKC-767ではなくKC-46Aを選択した理由、米軍のKC-46Aの調達時の不具合等は解消されたのか等に関し、丁寧な説明が必要である。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	113,107	27,724	▲85,383	－	縮減	・引き続き、米国政府が示した取得価格の内訳の妥当性について精査するとともに、価格交渉を行い、経費の低減、抑制に努める。また、KC-46Aの不具合等に対する処置状況等について、引き続き米空軍から情報収集し、説明等について丁寧な対応を実施する。 ・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛 21 － 0168 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0126	輸送ヘリコプター（ＭＣＨ－１０１の生産購入）	平成15年度	終了予定なし	1,022	1,022	1,022	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	5,590	18,149	12,559	－	現状通り	引き続き事業の継続に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛 21 － 0186 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0127	輸送船舶の取得	令和4年度	令和9年度	764	764	764	広大な島嶼部を抱える日本としては必要な事業である。成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	2,339	11,563	9,224	－	現状通り	引き続き、事業を効率的に進めることに加え、効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船建造費 （大事項）艦船建造に必要な経費	防衛 新22 － 0006 －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	－			
		0128	次期民間輸送船の運航・管理事業に係るアドバイザリー業務	令和4年度	令和5年度	61	61	59	広大な島嶼部を抱える日本としては必要な事業である。成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。長期アウトカムとして、「より安価で、より質の良い次期事業導入に資する調査」が設定されているが、調査はアウトカムとしては該当なしのではないか？「より安価で、より質の良い次期事業導入」が長期アウトカムが適切であると考える。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	作成過程における指摘のとおり、長期アウトカムを「より安価で、より質の良い次期事業導入」とした。	－	防衛装備庁装備政策部	一般会計	－	－ －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	－			
		令23-0021	次期装輪装甲車（人員輸送型）の取得	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。 ・点検結果について、必要性、有効性の記載について不足が見受けられるため、丁寧な記載と説明により国民の理解を得られるよう、記載内容を見直されたい。	－	13,065	13,065	－	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、適切かつ効率的な取得となるように努めるとともに、執行内容の透明性を確保できるようなレビューシートの作成に努めたい。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	－ －	－ －	－ －		－	－	－			
施策名：Ⅰ-1-（7） 持続性・強靭性																															
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0129	火器・装軌車等の修理（装軌車等外注整備）	平成17年度	終了予定なし	6,085	6,141	6,008	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	11,260	16,251	4,991	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努めるとともに、適切な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0031 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0130	火器関係（部品・外注費）、装軌車関係（部品費）	平成17年度	終了予定なし	9,859	10,507	9,786	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	16,434	1,383	▲15,051	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努めるとともに、適切な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0032 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0131	火器・装軌車等の改善・改造	平成17年度	終了予定なし	438	438	435	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	906	968	62	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努めるとともに、適切な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0033 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0132	ガスタービン機関組部品のオーバーホール	平成5年度	終了予定なし	3,871	3,871	2,373	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・執行率が低調のため、適正な予算要求に努められたい。	3,160	2,988	▲172	－	年度内に改善を検討	執行率低調の改善を検討し、適正な予算要求に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0048 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0133	施設機械の修理	平成17年度	終了予定なし	1,844	1,940	1,899	事業の目的や課題に、より費用対価効果の高い手法（包括化や性能発注による長期契約等）も含めるべきではないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	3,001	1,679	▲1,322	－	年度内に改善を検討	本事業は、各種施設器材の修理費となるため、年度ごとの故障実績等を反映した予算を執行しており、まとめ買い等費用対効果の高い手法も引き続き検討する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0057 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0134	諸器材等維持費等（陸自）	昭和29年度	終了予定なし	7,407	6,502	4,624	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・執行率が低調のため、適正な予算要求に努められたい。	16,952	30,433	13,481	－	執行等改善	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0061 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0135	油購入費	昭和33年度	終了予定なし	116,356	162,764	160,804	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	223,558	185,635	▲37,923	－	執行等改善	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 21 － 0064 －	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0136	弾薬（海上自衛隊）	昭和40年度	終了予定なし	36,760	36,611	32,225	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	67,400	33,287	▲34,113	－	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 － 0075 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0137	主機等オーバーホール	平成3年度	終了予定なし	13,004	13,004	9,972	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	11,588	11,084	▲504	－	現状通り	引き続き、事業活動の進捗を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0076 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0138	機雷探知機の整備等	平成2年度	終了予定なし	1,537	1,539	1,180	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,738	1,895	157	－	現状通り	引き続きコスト低減及び安定的な整備回転の維持を図る。また、事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0078 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0139	潜水艦の主蓄電池の換装及び購入	平成16年度	終了予定なし	6,738	6,738	6,836	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	5,616	5,291	▲325	－	現状通り	インセンティブ契約制度の活用等、引き続き調達コストの削減に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0086 －	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		0140	潜水艦救難態勢の維持	平成20年度	終了予定なし	523	523	511	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	アウトカムの政策目標の設定理由について、アウトプットからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。	1,400	1,009	▲391	－	現状通り	引き続き、アウトカムの政策目標の設定理由について、適切な記載をするよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0087 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0141	誘導弾の取得	平成15年度	終了予定なし	3,207	3,207	2,991	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	9,965	4,574	▲5,391	－	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 － 0092 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0142	誘導弾の維持整備	昭和48年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するための課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,390	653	▲737	－	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0093 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			

様式1

政策	施策	事業番号	事　業　名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備　考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0143	乙類（誘導弾）	昭和39年度	終了予定なし	3,359	1,823	418	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・短期アウトカム、長期アウトカムにおける定量的な成果指標の設定要領について、各アウトカムにおいて適切な設定とするよう指導した。 ・点検結果の欄に、繰越が多く執行率も低調となった理由について、国民の理解が得られるよう丁寧に記載されたい。	410	303	▲107	–	年度内に改善を検討	新型コロナウイルス感染症の流行により、繰り越し等調達に影響があったことを点検結果に追記した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 － 0094 －	－ －	－ －		–	–	令和2年度			
		0144	武器修理費（陸自）	不明	終了予定なし	18,235	18,444	18,172	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・長期アウトカムにおける定量的な成果指標について、短期アウトカムからの流れを踏まえ、適切に設定するよう指導した。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	24,239	15,290	▲8,949	–	年度内に改善を検討	・長期アウトカムにおける定量的な成果指標について、短期アウトカムとの相違が明確になるよう設定した。 ・調達関係部署と密接に連携し、公平性・透明性の確保等を通じて引き続き競争性の向上に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0097 －	－ －	－ －		–	–	令和3年度			
		0145	弾薬（陸上自衛隊（防大、防医大含む））	昭和３９年度	終了予定なし	51,914	56,897	56,803	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・活動内容と活動目標等の記載内容を統一するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	60,304	4,950	▲55,354	–	年度内に改善を検討	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。また、一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部 整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 － 0109 －	－ －	－ －		–	–	令和3年度			
		0146	航空機修理費（陸自）	昭和28年度	終了予定なし	51,877	53,482	51,253	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定年度がない継続した事業であることから、これまでの事業の必要性や進捗において事業を効率的に実施してきた点などについて、自己点検結果を記載するよう指導した。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	60,874	90,023	29,149	–	年度内に改善を検討	・事業の必要性及び効率的な実施について、自己点検要領について検討を図る。また、引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・要因分析を実施し、競争性の向上に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0125 －	防衛 21 － 0126 －	防衛 21 － 0127 －	防衛21-0128	–	–	令和3年度			
		0147	航空一般部品	昭和47年度	終了予定なし	36,160	37,218	37,863	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	41,772	25,470	▲16,302	–	年度内に改善を検討	可能な限り短期間に事業目的を達成できるよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0130 －	－ －	－ －		–	–	令和4年度			
		0148	航空機修理費（海自）	昭和30年度	終了予定なし	27,209	25,942	27,550	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状において単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・一般競争で一者応札の契約については、要因分析するとともに、引き続き競争性の向上に努められたい。	46,346	64,586	18,240	▲542	縮減	・Ｐ－３Ｃの対象部品不足の予防並びに修理及び調達期間の短縮が達成できる包括契約を４箇年度にわたり締結するものである。本契約により対象部品の調達数量を最小限に留め、減勢傾向にあるＰ－３Ｃの全機除籍時に不要となる余剰在庫部品残存のリスクを低減する。 ・ＴＣ／ＬＣ－９０の機体に係る修理回転品目の修理リードタイム、消耗品の調達リードタイム及び在庫保証等をパフォーマンスとして要求するほか、機体定期修理及び技術支援等維持に係る業務について、４箇年度にわたり包括的に契約を締結することにより経費低減を図る。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0137 －	防衛 21 － 0116 －	防衛 21 － 0138 －		–	–	令和4年度			
		0149	マイナーオーバーホール	昭和47年度	終了予定なし	13,240	13,024	9,053	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定が定まっておらず、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間に事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。なお、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	17,883	10,798	▲7,085	–	執行等改善	可能な限り短期間に事業目的を達成できるよう努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0140 －	－ －	－ －		–	–	令和3年度			
		0150	哨戒ヘリコプター（ＳＨ－６０Ｋ）の取得	平成14年度	令和6年度	11,197	10,574	10,403	添付概要資料に「令和６年度納入の最終号機をもってＳＨ－６０Ｋの生産購入を終了予定である」とあるが、その後の哨戒機の後継機種等の開発計画も含めた、装備計画が必要ではないか。SH-60Kの一括調達は効率的な面もあるが、生産が継続しないことが予見されている以上、修理や交換の経費、後継機の開発費用などを見込んだ長期計画がおりこまれるべきである。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	22,690	13,263	▲9,427	–	現状通り	ＳＨ－６０Ｋの後継機であるＳＨ－６０Ｌ（仮称）については、行政事業レビュー「回転翼哨戒機（ＳＨ－６０Ｌ（仮称））の取得」で示していく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の購入に必要な経費	防衛 21 － 0172 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0151	航空機修理費（空自）	不明	終了予定なし	309,566	310,834	236,119	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・終了予定年度が定まっていない事業だが、事業目的が達成することを意識する年度とその目標値を設定するよう指導した。	407,078	348,249	▲58,829	▲2,926	縮減	保有航空機の維持に関する事業であり、毎年度の所要に応じて変化するものであるため、執行の見直しを図りつつ、引き続き、同様のレビューを継続する。またF110ｴﾝｼﾞﾝ部品の取得を、従来の消費実績に基づく個別の契約から長期契約に基づく包括契約に変更し、より精度の高い需給予測に基づいた部品の効率的な取得を可能とすることで、適切な在庫量を維持し、経費縮減を図った。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0193 －	防衛 21 － 0195 －	防衛 21 － 0196 －	防衛21-0197	–	–	令和元年度			
		0152	市ヶ谷地区の維持管理に要する経費	平成12年度	終了予定なし	7,509	7,509	7,442	課題と解決のためのアクティビティについてより具体的な記載があると良い。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	10,538	9,391	▲1,147	–	現状通り	ただし、役務期間を３ヵ年とする４国予算の計上方法については、引き続き検討するものとする。	–	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）知的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）防衛装備庁共通費 （大事項）防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛 21 － 0198 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0153	相互防衛援助協定交付金	昭和29年度	終了予定なし	154	154	154	本事業の性格上定量的な評価になじまない、という点は十分理解でき、その意味で適切な成果目標を設定しており、評価できる。引き続き、相互防衛援助事務所との間で経費の必要性を十分協議のうえ、進められたい。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	154	154	–	–	現状通り	本事業は、引き続き、相互防衛援助事務所との間で経費の必要性を十分協議のうえ、進める。	–	大臣官房	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）相互防衛援助協定交付金等に必要な経費	防衛 21 － 0204 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和2年度			
		0154	艦齢延伸措置（潜水艦）	平成25年度	終了予定なし	6,866	6,866	6,465	潜水艦の艦齢の延伸等のための改修は、乗務員の安全の確保においても不可欠であると考えられ、事業の必要性が高い。なお、現在の隻数や艦齢の管理に当たっては、戦闘力、運用経費、維持整備費等を総合的に判断して、艦齢の計画（除籍の計画）を図ることが必要であり、単なる所有隻数の維持にとどまらない（人員配置等も含めた）持続可能な計画が必要である。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、修繕のようにその活動が目的に直結するような事業については、複数のアウトカムを記載することが難しい場合は、無理に複数段階の指標を設定せず、アウトプットからシンプルに成果を確認できる記載内容とするよう指導した。	3,560	2,495	▲1,065	–	年度内に改善を検討	引き続き戦闘力、運用経費、維持整備費等を総合的に判断して、艦齢の計画をもとに持続可能な計画を検討する。また、予算の効率的な執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0011 －	防衛 21 － 0013 －	防衛 21 － 0089 －		書面点検	その他	平成30年度			
		0155	自衛隊施設の持続性・強靭性の強化	昭和29年度	終了予定なし	26,550	184,490	176,525	・民間活力の観点で、発注単位の包括化や、施設改修と維持管理を一体的に発注等による効率性の向上の検討や施設の規格が民間ノウハウを導入しやすい内容となるよう留意すべき。また、特に汎用性の高い施設設備を中心に民間活力の活用を検討すべき。将来的な発注規模等を示して、民間企業側の長期のコミットを引き出すことも意識すべき。このほか、労働供給不足が予測される中、人手をかけない維持管理の仕組みを民間の知見も取り入れて検討すべき。	事業内容の一部改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえ、適切に対応されたい。	20,497	29,280	8,783	–	執行等改善	・建設業界との意見交換会等により、民間企業側の知見やアイデアを取り込み、複数地区をまとめた発注方式や、ECIやPFIなど、設計、施工、維持管理までを含めた事業を検討する。 ・PPP/PFIなどの民間活力の活用に向け、令和５年度においては、施設の利用目的や汎用性の高い施設設備なども踏まえたPFI手法の導入可能な事業を検討する簡易検討調査業務を行う。また、包括的民間委託などのPPP導入にも取り組み、労働力不足への対応についても検討する。 ・庁舎等の耐震化（建替え含む）については、優先して進めてきており、令和６年度概算要求においても所要の経費を計上する。 ・隊員の生活・勤務環境の改善のため、老朽した隊舎・庁舎等の建替・改修（女性区画やトイレ改修を含む）について、令和６年度概算要求において所要の経費を計上する。特に、生活・勤務環境に関する基準を新たに制定し設計に適用していくこと等により、ユニバーサルトイレの設置、シャワー室脱衣所の個室化、少人数居室の整備等を一層進めていく。 ・DFISを活用し、施設のメンテナンス等に係るコストの縮減・平準化を取り入れるなどの取組を行う。 ・設計段階から予防保全型の維持管理導入によるトータルコスト縮減の試算を行い、将来的にはDFISを活用し、LCCコストを含め施設利用効率化も踏まえた自衛隊施設のマネジメントを実施していく。また、DFISに各種リスクを踏まえた情報や各種検討結果のデータを蓄積し、将来の修繕、改修計画に反映させる。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費	防衛 21 － 0200 －	防衛 21 － 0113 －	－ －		公開プロセス	その他	平成30年度			
		0156	自衛隊施設の抗たん性の向上	昭和29年度	終了予定なし	269	193,425	176,525	・施設の中長期的な利活用目的を前提とした「集約化・再配置」の地区横断的な計画がより重要。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動目標の記載内容については、適切に記載するよう指導した。	2,106	14,371	12,265	–	執行等改善	活動目標の記載内容について適切に記載した。外部有識者の所見を踏まえ、ＰＦＩに限定することなく、効率化の手法について幅広く検討する。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 21 － 0200 －	防衛 21 － 0113 －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0157	部隊新編及び新規装備品導入などに伴う施設整備等	昭和29年度	終了予定なし	140,467	193,425	176,525	・施設の強靭化は防衛上や隊員の安全確保の観点から不可欠なものであり、特に耐震補強は早急に実施すべき。	現状通り	・活動指標や成果目標の設定理由の記載内容等について、適切に記載するよう指導した。	141,975	338,519	196,544	–	現状通り	活動指標や成果目標の設定理由等について適切に記載した。	–	整備計画局	一般会計	（項）防衛本省施設費 （大事項）防衛本省施設整備に必要な経費	防衛 21 － 0200 －	防衛 21 － 0113 －	－ －		書面点検	その他	令和4年度			
		0158	艦齢延伸措置（護衛艦）	昭和40年度	終了予定なし	9,685	9,990	9,104	・人材確保の観点から、居住環境の基本方針（WiFi、女性やLGBTQに配慮したトイレ・浴室や個人スペース等）を策定して、より良い環境の提供という観点からの施策も同時に実施すべき。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	9,996	15,379	5,383	–	年度内に改善を検討	引き続き艦齢の計画をもとに適切な事業計画を検討する。また、効率的な検査と修理の実施と執行に努める。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0089 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0159	艦船用ガスタービン機関の維持整備	令和3年度	終了予定なし	578	578	601	・管理、メンテナンス等を効率的に行い得る新たな設計思想等の検討と導入を図る必要。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、成果目標の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	1,474	3,695	2,221	–	年度内に改善を検討	各成果実績や目標値について、より具体的な記載をするよう改善を検討する。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0089 －	－ －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		0160	機齢延伸措置	平成23年度	終了予定なし	11,255	11,151	11,115	・予防保全は、財政的な効果や施設利用効率の観点で継続的に分析し改善につなげるプロセスを整備することが必要。	現状通り	・成果目標の設定理由や成果指標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	10,625	7,699	▲2,926	–	現状通り	成果目標の設定理由や成果指導について、適切に記載した。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0137 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0161	防衛省における実証実験を伴う５G調査研究	令和3年度	令和5年度	396	366	323	・脅威やリスクに関する現況の分析評価結果のデータ蓄積や、各施設の強靭化の必要性の検討結果を修繕・改修計画に反映させる仕組みが必要。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	523	–	▲523	–	予定通り終了	・要望する成果が得られるよう、引き続き委託先への指示等を適切に行っていく。 ・各隊との報告内容の共有等を通じて、継続した次世代移動通信基盤の本格導入の足がかりとすべく努める。	–	防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	－ －	－ －	－ －		書面点検	最終実施年度	–			
		0162	航空機の効果的、効率的なＰＢＬ等包括契約の実施に係る調査研究	令和4年度	令和4年度	25	25	25	・航空機の維持整備に関するロジスティックスは、サプライチェーンの安定化とコストのバランスが重要である。その意味でPBLによる経費の抑制は両者のバランスを取るのに適切な制度ではある。しかし、過去にPBLを実施していないP-1のような機体にそうした制度を適用するにはリスクも伴う。そのリスクを明らかにし、将来にわたって維持整備の効率化につながる事業と評価する。	終了予定	本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	–	–	–	–	予定通り終了	今後類似事業を執行する際に所見内容を参考とし、効果的な活動としていく。	–	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	–	防衛 新22 － 0010 －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	–			
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		新23-0022	リフレクタ型デコイ弾の取得	令和5年度	令和8年度	–	–	–	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・アクティビティ①②について、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	22	–	▲22	–	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	–	整備計画局	一般会計	（項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	－ －	－ －	－ －		–	–	–			

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度 当初予算額 A	令和６年度 要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		新23-0022	田転翼時戒機（ＳＨ－６０Ｌ（仮称））の取得	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、アウトカムの設定について、適切な設定となるよう指導した。	－	－	－	－	現状通り	適正なアウトカムを設定し、引き続き事業の効率化に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	－ －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		新23-0024	気候変動への対応に取り組むための検討委託業務	令和5年度	令和6年度	－	－	－	・有用性、実現可能性の高いロードマップ案を得るには、実際に業務に携わるシンクタンクの担当者が、防衛省の意図や目的、要求について正確に把握する能力を持っていることが重要であり、事業者選定時にあたっては、当該担当者へのヒアリングを通じ、効果的なコミュニケーションができそうかを選考することが肝要と思われるので、その点留意されたい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、通切に対応されたい。なお、アクティビティの記載内容について、適切に記載するよう指導した。	29	30	1	－	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、令和５年度に引き続き、令和６年度においても事業者にヒアリングを行うことで、適切な事業者の選定に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 新23 － 0013 －	防衛 新23 － 0014 －	－ －		書面点検	見直しの有無	－			
		新23-0025	装備品等の製造体制の拡充等	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・装備品をタイムリーに調達するためには、メーカー側の体制等が整っていることが重要であるので、本事業は必要な事業である。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、通切に対応されたい。なお、事業の特性上、現時点においては単一アウトカムのみの設定とすることは妥当である。	239	238	▲1	－	現状通り	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定し、効率的に継続するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 新23 － 0021 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	－			
政策名：Ⅰ-2　我が国自身の防衛体制の強化（防衛力を支える要素）																															
	施策名：Ⅰ-2-（1）　訓練・演習																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0163	米国における実動訓練	平成25年度	終了予定なし	555	543	104	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・アクティビティからアウトカムの流れを適切に記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結するため、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・執行率が低調のため、適正な予算要求に努められたい。	32	572	540	－	執行等改善	上記所見を踏まえ、適正な予算要求に努める。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）訓練・演習の実施に必要な経費	防衛 21 － 0107 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0164	部隊等における教育・訓練に要する経費	昭和28年度	終了予定なし	51,134	51,198	51,384	コスト縮減策も適切に取られており、評価できる。引き続き効率的な予算執行を通じ、効果的な訓練実施に努められたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、通切に対応されたい。なお、成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	85,350	143,627	58,277	▲68	縮減	効果的な教育訓練を実現するため、より一層のコスト縮減を図ることとし、成果目標については、より事業の内容を効果できるよう記載要領を検討する。なお４年度執行実績及び５年度執行状況を反映したことにより縮減を図った。（▲68百万円）	－	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）安全保障協力推進費 （大事項）防衛協力・交流の推進に必要な経費	防衛 21 － 0277 －	防衛 21 － 0227 －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
	施策名：Ⅰ-2-（3）　地域コミュニティーとの連携																														
		0165	移転措置事業	昭和49年度	終了予定なし	5,062	5,143	4,618	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	5,605	3,308	▲2,297	－	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合はその結果を改善につなげる。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0282 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0166	民生安定助成事業	昭和49年度	終了予定なし	36,676	35,452	31,677	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	成果指標は設定されているが、その設定理由や過年度でも成果実績が記載されていなかったので、設定意図や実施時期を記載するよう指導した。	35,575	28,780	▲6,795	－	現状通り	作成過程における指摘を踏まえ、成果指標の設定意図や実施時期を記載した。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0283 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度		○	
		0167	緑地整備事業等	昭和49年度	終了予定なし	932	825	747	緑地整備の目標設定として、優先的に実施すべき場所や数量など、現地のニーズを踏まえた目標設定を行うべきではないか。	現状通り	事業の特性上、現時点においては定性的なアウトカムとすることは妥当であるものの、有識者の所見も踏まえ、今後の成果目標等の設定について検討しつつ、現地のニーズを踏まえ適切な予算要求に努められたい。	1,151	1,224	73	－	現状通り	今後の成果目標等の設定について検討しつつ、現地のニーズを踏まえ適切な予算要求に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛 21 － 0284 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	平成30年度			
		0168	騒音防止事業（住宅防音）	昭和49年度	終了予定なし	61,509	58,934	55,648	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・繰越額が大きいが、現状・課題欄に理由が記載されており、要因分析に努めているよう見受けられる。引き続き効率的な予算執行に努められたい。	59,052	51,516	▲7,536	－	現状通り	・繰越の主な理由は、新型コロナウイルス感染症を懸念し、工事延期が生じた結果等、事情やむを得ないものである。これまでも繰越事業の徹底の事情を考慮しつつ事業促進に努めているところであり、引き続き効率的な予算執行に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0285 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度		○	
		0169	慣料	昭和27年度	終了予定なし	131,895	131,908	131,633	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	132,888	134,261	1,373	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費	防衛 21 － 0286 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0170	補償経費等	昭和27年度	終了予定なし	13,834	14,870	12,534	令和５年度については、繰越額も含めた予算額が大きく膨らんでいる理由を記載されたい。	事業内容の一部改善	一部の指標等について、より分かりやすい記載となるよう指導した。	14,690	14,736	46	－	執行等改善	繰越額については、米側との調整に時間を要したことにより、やむを得ず繰越したものであるが、引き続き効率的な執行に努める。	－	地方協力局 整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0287 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和元年度			
		0171	障害防止事業	昭和49年度	終了予定なし	12,556	13,020	12,478	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・現状を踏まえ、それに対する課題を明確に記載するよう指導した。	12,191	5,052	▲7,139	－	執行等改善	指導を踏まえ、現状に対する課題を明確に記載した。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0288 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度		○	
		0172	騒音防止事業（一般防音）	昭和49年度	終了予定なし	9,925	9,105	9,557	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果目標の設定について、類似事業のレビューシートを参照するよう指導した。	8,725	8,158	▲567	－	現状通り	成果目標の設定について、所要の反映を行った。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0289 －	－ －	－ －		－	－	令和元年度		○	
		0173	道路改修等事業	昭和49年度	終了予定なし	7,299	6,752	6,455	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	8,327	5,561	▲2,766	－	執行等改善	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。繰越については、やむを得ない事情により生じたものであるが、地方公共団体とのヒアリングにおいて事業の進捗状況及び見通しについて、確認及び精査を徹底し、適切な事業管理に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0290 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度		○	
		0174	防衛施設周辺整備統合事業	平成16年度	終了予定なし	914	685	673	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・一部の指標等について、より分かりやすい記載となるよう指導した。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	1,219	919	▲300	－	執行等改善	作成過程における指摘を踏まえ、より分かりやすい記載に変更した。繰越については、やむを得ない事情により生じたものであるが、地方公共団体とのヒアリングにおいて事業の進捗状況及び見通しについて、確認及び精査を徹底し、適切な事業管理に努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0291 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度		○	
		0175	大規模広報施設	平成3年度	終了予定なし	281	281	264	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	327	372	45	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き適切に対応していくこととしたい。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0292 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
		0176	一般広報	昭和29年度	終了予定なし	670	670	526	これまでの事業を通して、国民の関心度の向上につながっていることから、引き続き、広報活動を進めていくほか、予算要求については、変なる効率化施策についての検討に努める。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されていると考えるが、有識者の所見も踏まえ、適切に対応されたい。	731	905	174	－	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き適切に対応していくこととしたい。	－	大臣官房	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費 知的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0293 －	防衛 21 － 0294 －	防衛 21 － 0295 －	防衛21-0296	書面点検	その他	平成30年度			
		0177	特定防衛施設周辺整備調整交付金	昭和49年度	終了予定なし	37,680	37,404	37,377	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・一部の指標等について、より分かりやすい記載となるよう指導した。	40,850	25,921	▲14,929	－	現状通り	一部の指標等について、より分かりやすい記載に修正を行った。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）地域コミュニティーとの連携に必要な経費 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0297 －	－ －	－ －		－	－	令和元年度			
		新23-0026	特別研究に伴う調査委託費	令和5年度	令和5年度	－	－	－	・防衛活動を進めていく上で必要な活動である。最美に実行していると評価できる。アウトカム指標として、本検討による情報の件数を設定していることは評価できるが、これは報告書をベースにすぐに検討できるものであるため、短・中期のアウトカムであり、長期的には施設設置住民の好意度であったり、クレーム数の減少などになるのではないか？	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえ、通切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	4	－	▲4	－	予定通り終了	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	地方協力局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費	防衛 新23 － 0024 －	－ －	－ －		書面点検	最終実施年度	－			
	施策名：Ⅰ-2-（4）　政策立案機能の強化等																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0178	防衛研究所における教育に要する経費	昭和29年度	終了予定なし	298	295	258	適切な成果目標を設定しており、評価できる。引き続き予算の効率的運用と質の高い研究・教育に尽力されたい。	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	333	529	196	－	現状通り	引き続き、効率的な予算要求及び執行に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 施設等機関等の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）知的基盤の強化に必要な経費	防衛 21 － 0298 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和元年度			
政策名：Ⅰ-3　我が国自身の防衛体制の強化（国民の生命・身体・財産の保護・国際的な安全保障協力への取組）																															
	施策名：Ⅰ-3-（1）　大規模災害等への対応																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況			備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号				令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
							執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額		反映内容					1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合						
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0179	津波・浸水等の自然災害対策	昭和29年度	終了予定なし	4,218	193,425	176,525	複数工事の一括発注等、効率的な整備手法を継続的に検討のうえ、実施されたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、成果目標の設定理由等について、適切に記載するよう指導した。	2,190	13,338	11,148	-	現状通り	成果目標の設定理由等について適切に記載した。外部有識者の所見を踏まえ、効率的な整備手法について継続的に検討する。	-	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛 21 － 0200 －	防衛 21 － 0113 －	－ －		書面点検	その他	平成30年度			
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
	施策名：Ⅰ-3-（3）　国際平和協力活動等																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0180	ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援	平成28年度	終了予定なし	89	88	39	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	133	-	▲133	-	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	-	統合幕僚監部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）衛生機能の強化に必要な経費 （項）安全保障協力推進費 （大事項）防衛協力・交流の推進に必要な経費	防衛 21 － 0309 －	－ －	－ －		-	-	令和4年度			
		0181	海賊対処に要する経費	平成21年度	終了予定なし	11,966	13,260	14,248	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	8,436	7,185	▲1,251	-	年度内に改善を検討	・引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。 ・繰越が継続している事業について、整備方法・計画の検討、新たな企業の参入促進を図り、効率的な予算執行に努める。	-	統合幕僚監部 防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0316 －	防衛 21 － 0317 －	－ －		-	-	令和3年度			
政策名：Ⅰ-4　我が国自身の防衛体制の強化（早期装備化のための新たな取組）																															
	施策名：Ⅰ-4-（1）早期装備化のための新たな取組																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		新23-0027	AI適用システム維持管理のための環境構築の実証に関する経費	令和5年度	終了予定なし	-	-	-	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・成果目標及び成果目標の設定理由について、適切に記載するよう指導した。	1,319	1,136	▲183	-	現状通り	指導に従い、成果目標及び成果目標の設定理由を修正した。	-	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 新23 － 0016 －	－ －	－ －		-	-	-			
政策名：Ⅱ-5　日米同盟による共同抑止・対処（日米同盟の強化）																															
	施策名：Ⅱ-5-（1）　日米防衛協力の強化																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
	施策名：Ⅱ-5-（2）　在日米軍の駐留を支えるための施策の着実な実施																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0182	訓練移転費の負担	平成8年度	終了予定なし	1,074	1,074	962	引き続き効率的な予算執行に努められたい。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	1,300	1,294	▲6	-	現状通り	引き続き日米間で緊密な連携を図り、効率的な予算要求及び予算執行に努める。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 21 － 0299 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和元年度			
		0183	駐留軍等労働者の労務管理	昭和53年度	終了予定なし	153,269	153,269	152,818	定期健康診断及び産業医の入札や褒章の記念品の調達での入札等、効率化を進めているが、引き続き効率的な予算執行を継続されたい。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	153,757	149,660	▲4,097	-	現状通り	有識者の所見を踏まえ、引き続き効率的な予算執行に努める。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 21 － 0300 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0184	提供施設の整備	昭和54年度	終了予定なし	26,713	20,572	17,012	・成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	29,752	39,140	9,388	-	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、引き続き対応に努めていく。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 21 － 0303 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和2年度			
		0185	光熱水料等の負担	平成3年度	終了予定なし	23,410	23,410	23,406	・引き続き効率的な予算要求・執行に努められたい。	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	23,410	15,110	▲8,300	-	現状通り	・引き続き効率的な予算要求・執行に努める。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 21 － 0302 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	平成30年度			
		0186	提供施設移設整備等	昭和38年度	終了予定なし	3,362	1,624	1,867	・成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	8,318	9,343	1,025	-	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、引き続き対応に努めていく。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 21 － 0303 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和元年度			
		0187	米軍再編関係経費	平成18年度	終了予定なし	456,761	300,731	296,652	「再編実施のための日米ロードマップ」において、 沖縄の基地負担軽減を図る目的の１つとして計画されたグアム移転は、その進捗および効果の点で、検証が必要であり、一層の丁寧な説明が必要である。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	167,449	-	▲167,449	-	現状通り	ご指摘も踏まえ、引き続き、事業の適切な進捗管理を行い、丁寧な説明に努めていきます。 なお、グアム移転事業については、本年１月の「２＋２」共同発表において、2024年に開始される米海兵隊要員の沖縄からグアム移転が開始することについて、日米間で確認されています。	-	地方協力局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費 （項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組の実施に必要な経費	防衛 21 － 0304 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0188	SACO関係経費	平成8年度	終了予定なし	1,823	1,740	1,917	SACO最終報告（１９９６年）については、合意した措置が実行されることが法令上の業務としては重要である一方で、SACO最終報告当時と比較して地政学上のリスクは大きく変化しており、計画の目的について適切な再検証を要する。	現状通り	事業の特性上、現時点のアウトカムとすることは妥当であるものの、有識者の所見も踏まえ、今後の成果目標等の設定について検討するとともに、適切な予算要求に努められたい。	1,706	-	▲1,706	-	現状通り	今後とも、事業の効果を評価するために適切な成果目標等を検討し丁寧な説明につとめるとともに、適切な予算要求に努める。 その上で、ＳＡＣＯ最終報告に盛り込まれた事業においては、引き続き県道１０４号線越え実弾射撃訓練等の訓練移転等を着実に実施していく。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）沖縄に関する特別行動委員会最終報告に盛り込まれた措置の実施に必要な経費	防衛 21 － 0305 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0189	独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費交付金	平成14年度	終了予定なし	3,271	3,271	3,271	昨今の事務作業のシステムやAIを活用した省力化の動きを取り入れ、抜本的な業務改善を行うように機構側に働きかけることが求められる。また求人もポスターの掲示ではなく、SNSの活用やインターネット求人のさらなる活用等に切り替えていくことを推進されたい。これらを通じて、機構運営関係費の「令和３年度を基準として３%の縮減」ではなく、「システム化による抜本的な改善・コスト削減」を検討されたい。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	3,798	4,071	273	-	年度内に改善を検討	事務作業のシステムやAIを活用した省力化の動きの取り入れについては、共有フォルダの導入等のシステムの構築中であり、経費の節減に努めているところである。また、SNSの活用やインターネット求人については、引き続き更なる活用により求人に努めるものである。これらを踏まえ、抜本的な改善・コスト削減を踏まえた業務改善に努めていくものである。	-	地方協力局	一般会計	（項）独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費 （大事項）独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費交付金に必要な経費	防衛 21 － 0306 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	平成30年度			
		0190	訓練資機材調達費の負担	令和4年度	終了予定なし	1,043	1	1	・令和４年の条約に基づく、新規の項目として「自衛隊と米軍の相互運用性の向上にも資する訓練資機材の調達」を図るものであり、現時点では具体的に事業を検証できるだけの原典資料に乏しい状態である。特にＬＶＣシステムについては、具体的な訓練成果やその内容を示す必要がある。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,689	6,501	4,812	-	執行等改善	日米同盟の抑止力・対処力をより一層効果的に強化する訓練資機材が調達されるよう適切に措置するとともに、その調達状況についてしっかりと確認する。	-	地方協力局	一般会計	（項）在日米軍等駐留関連諸費 （大事項）在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛 新22 － 0015 －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	-			
政策名：Ⅲ-6　同志国等との連携（同志国等との連携）																															
	施策名：Ⅲ-6-（1）　ハイレベル交流・政策対話等の推進																														
		0191	外国との交流・対話等	昭和44年度	終了予定なし	698	692	425	「ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生といった様々なレベルにおける交流を実施」することの重要性に異論はないものの、本レビューシートにおける活動実績の記載は留学生の受入に偏った内容となっている。また、留学生の滞在期間や学習内容の内容、及び交流事業と防衛協力との関連性について、昨今の国際情勢の緊迫を踏まえ、改めて検証が必要と考えられる。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	842	877	35	-	年度内に改善を検討	ご指摘を踏まえつつ、適切な交流・対話の在り方について、引き続き検討する。	-	防衛政策局 人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 統合幕僚監部の運営に必要な経費 陸上自衛隊の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 航空自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）　武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）安全保障協力推進費 （大事項）防衛協力・交流の推進に必要な経費	防衛 21 － 0310 －	防衛 21 － 0311 －	防衛 21 － 0312 －	防衛21-0308	書面点検	見直しの有無	平成30年度			
	施策名：Ⅲ-6-（2）　共同訓練・演習																														

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0192	多国間・２国間交流	平成25年度	終了予定なし	1,745	1,742	102	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・これまでの事業の実施状況から、事業の必要性や有効性などの現状から自己点検結果を記載するよう指導した。なお本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。また、執行率が低調のため、執行状況を予算に反映されたい。	2,462	3,120	658	－	執行等改善	上記所見を踏まえ、適正な予算要求に努める。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）統合幕僚監部の運営に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 訓練・演習の実施に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）安全保障協力推進費 （大事項）防衛協力・交流の推進に必要な経費	防衛 21 － 0313 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
	施策名：Ⅲ-6-（3） 装備・技術協力																														
		0193	防衛装備移転に関する調査等	平成29年度	終了予定なし	547	547	475	防衛装備移転は相手国における防衛ニーズの調査は不可欠だが、同時に外交・戦略的な関係が重要な意味を持つ。防衛装備は一度調達すると、なかなか他の兵器体系に移行することが難しいため、日本が積極的に防衛装備移転を進めることによって、長期的な友好関係を作り上げることができる。外務省等との連携が重要。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	777	901	124	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁装備政策部 防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	防衛 21 － 0247 －	防衛 21 － 0246 －	防衛 21 － 0245 －	防衛新22-0011 防衛21-0244 防衛21-0243 防衛21-0314	書面点検	見直しの有無	平成30年度			
		0194	東南アジア諸国との防衛技術協力	令和元年度	終了予定なし	152	152	112	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・各段階の成果目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。 ・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。 ・執行率が低調のため、執行状況を予算に反映されたい。	313	246	▲67	－	執行等改善	執行率が低調な要因としては、競争入札の結果として見込みを下回る執行額となったことや新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業計画の変更が生じたことによるものの、引き続き、執行実績等も踏まえた適切な予算要求及び執行に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	防衛 21 － 0268 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		※22-0028	防衛装備移転円滑化のための基金・補助金	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。また、事業を実施するとの課題や、活動目標等については概ね整備されている。	40,200	40,250	50	－	現状通り	引き続き適切な予算要求及び効果的な運用に努める。	－	防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	令和3年度		○	○
	施策名：Ⅲ-6-（4） 能力構築支援																														
		0195	能力構築支援事業	平成23年度	終了予定なし	337	337	323	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	356	512	156	－	現状通り	・引き続き、適切な予算要求に努めることとする。	－	防衛政策局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）安全保障協力推進費 （大事項）能力構築支援に必要な経費	防衛 21 － 0315 －	－ －	－ －		－	－	令和4年度			
政策名：Ⅳ-7 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤（いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤）																															
	施策名：Ⅳ-7-（1） 防衛生産基盤の強化																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0196	防衛生産・技術基盤の維持強化に資する経費	平成27年度	終了予定なし	1,665	1,665	1,222	防衛産業が抱える課題は多い。後継者の問題やサイバーセキュリティの強化など、課題のいくつかに関しては適切な対応が取られていると見受けるが、最大の問題である、安定した収益の確保、コストプラスの会計方式へのアプローチがない。調達にかかわる問題はこうした経費とは別にお上されているかもしれないが、現代の日本の防衛産業の問題点はこうした収益性の低さであり、それは結果として防衛業界からの撤退となる恐れも無い。こうした企業の流出、防衛離れを阻止するためにもより一層の工夫が必要。	事業内容の一部改善	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	1,669	2,434	765	－	執行等改善	防衛産業の収益性に関する指摘について、防衛産業の魅力化のための各種取組を進めるとともに、本件事業についても引き続き改善に努める。	－	防衛装備庁装備政策部 プロジェクト管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	防衛 21 － 0243 －	防衛 21 － 0205 －	防衛 21 － 0265 －	防衛新22-0013 防衛21-0267	書面点検	見直しの有無	令和4年度		○	
		0197	将来装備品の取得手段の調査	平成28年度	終了予定なし	326	326	227	調達の効率性とプロジェクトマネージメントの効率化は重要な課題である。ただし、これらのアクティビティを通じて効率化のみを追求することで、適切な装備の調達よりも、効率的な装備の調達に傾斜することには注意が必要。限られた予算とはいえ、効率性を重視しすぎて各種のリクワイアメントと合致しない装備を揃えることに意味はない。プロジェクト管理の事業が陥りやすい思い込みに至らぬよう注意が必要。	現状通り	各アクティビティにおける活動内容は、事業の最終目標に到達する関連性が高いことから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当であると考えられるが、有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	434	435	1	－	現状通り	外部有識者の知見も踏まえ、引き続き、事業の効果を測定するために適切な指標を設定するように努めるとともに、各自衛隊から要求について的確に情報収集等を行った上で、当該要求を満たすことを前提とした装備の調達に資する調査に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁調達管理部 防衛装備庁長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 21 － 0249 －	防衛 21 － 0259 －	防衛 0 － 0258 －		書面点検	見直しの有無	令和4年度		○	
		0198	プロジェクト管理の質的向上に係る経費	令和4年度	令和4年度	40	40	25	防衛省において、プロジェクト管理は大変重要な活動である。本事業は、成果目標を達しており評価できる。ただし、長期的なアウトカムは「プロジェクト管理の質的向上」であり、そのために「新たなプロジェクト管理手法の導入」があり、そのための「新たな管理手法の導入検討」となる。	終了予定	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	－	－	－	－	予定通り終了	外部有識者の所見も踏まえ、プロジェクト管理の質的向上の達成につながるよう本事業の成果の活用に努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛 新22 － 0012 －	－ －	－ －		書面点検	前年度新規	－		○	
		0199	防衛装備庁の研修にかかる経費	平成19年度	終了予定なし	31	31	16	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・一部の指摘等について、より分かりやすい記載となるよう指導した。 ・執行率が低調のため、要因を分析し、可能な限り予算要求に反映されたい。	30	36	6	－	執行等改善	指導を踏まえ、現状に対する課題を明確に記載した。	－	防衛装備庁長官官房 防衛装備庁装備政策部 防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 21 － 0251 －	防衛 21 － 0255 －	防衛 21 － 0256 －	防衛21-0257	－	－	令和2年度			
		0200	ＮＡＴＯカタログ制度の参加レベル引上げに関する経費等	令和元年度	終了予定なし	121	121	83	調達を進めるためには情報収集は不可欠であり、部外専門機関への委託を通じた情報収集と分析は重要である。ただし、石油価格など、民間の分析等がすでに存在するものに関しては、防衛装備庁として独自に調査する必然性は低く、より一般的な情報で対応できるものもあると考えられる。どこまで自前でやるべきかを判断する必要がある。	現状通り	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	163	124	▲39	－	現状通り	有識者の所見を踏まえ、本事業の有用性等を指知し、費用対効果を高め、経済的・効率的な予算執行に努めたい。	－	防衛装備庁調達管理部 防衛装備庁長官官房 防衛装備庁調達事業部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費 防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	防衛 21 － 0270 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		※22-0029	装備品安定製造等確保事業	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標及び成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	7,260	12,879	5,619	－	現状通り	作成過程における指導を踏まえ、活動目標及び成果目標の設定理由を適切に記載した。	－	防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		※22-0030	防衛特有の従来技術の維持向上に係る研究	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	540	740	200	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁装備政策部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		※22-0031	防衛セキュリティゲートウェイの整備	令和5年度	令和9年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。なお、活動目標や成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	5,939	10,419	4,480	－	現状通り	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。	－	防衛装備庁長官官房	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	－			
		※22-0032	ＦＭＳ調達の合理化等に向けた取組	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・本事業のFMS調達にかかる部外現地要員を採用し、情報収集や交渉力を強化することによる合理化については、現在FMS調達が抱える様々な課題を解決する与えて変革であると評価できる。しかし、部外現地要員は主として商社や企業の派遣員と言った、すでに所属のある者が候補にあがると思われるが、それらの人材を活用するためには相当なインセンティブが必要となる。また、現地の日本国籍ではないスタッフを用いることは、こちらの情報の漏洩にかかる問題にも注意する必要がある。本事業を見直す必要はないが、これらの点を留意したうえで有能な人材を獲得することが重要。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	278	278	－	－	現状通り	作成過程における指摘を踏まえて、短期・中期・長期の成果目標の設定理由を記載した。 また、今回の指摘事項を留意の上、適切に事業を推進していく。	－	防衛装備庁調達管理部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛 新23 － 0022 －	－ －	－ －		書面点検	見直しの有無	－			
	施策名：Ⅳ-7-（2） 防衛技術基盤の強化																														
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		再掲																				－ －	－ －	－ －							
		0201	衛星搭載型２波長赤外線センサ	平成27年度	令和6年度	2,031	1,386	1,104	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	－	1,157	1,157	－	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	防衛 21 － 0072 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		－	－	令和4年度			
		0202	次期戦闘機	令和2年度	令和17年度	14,670	14,670	14,586	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・これまでの事業進捗から、事業の必要性や効率的な事業実施などについて、自己点検結果を記載するよう指導した。 ・装備品の特性として、一定数の随意契約は発生するが、一般競争入札については、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。	58,641	49,087	▲9,554	－	年度内に改善を検討	一般競争入札について、引き続き競争性の確保に向けた取組みに努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費 防衛産業基盤の強靭化に必要な経費	防衛 21 － 0144 －	－ －	－ －		－	－	令和3年度			
		0203	静粛型動力装置搭載魚雷	平成30年度	令和4年度	131	131	105	・外部有識者抽出点検の対象外である。	終了予定	・本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	防衛 21 － 0147 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		－	－	令和3年度			
		0204	ＦＣネットワークの研究	令和元年度	令和6年度	7,019	716	373	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業の実施や進捗確認に当たり、更面し、解決しなければならない課題について詳述するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	1,450	465	▲985	－	現状通り	・本事業の実施や進捗確認に当たり、更面し、解決しなければならない課題が発生した場合には詳述する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 － 0148 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		－	－	令和3年度			
		0205	潜水艦用高効率電力貯蔵・供給システムの研究	令和元年度	令和5年度	4,263	4,263	4,263	蓄電能力は経済安全保障の分野でも大きく取りよげられている技術であり、その技術が高度化することで、民間にもそれが波及し、電気自動車等の成長産業につなげられるような技術移転の可能性を探る必要がある。また、蓄電池の材料や部材の国内の輸入に頼ることが多いため、サプライチェーンの安定を想定した調達と、敵が国が脆弱性を持つような部材を極力避けるような開発が求められる。	終了予定	今年度終了予定事業であることから、これまでの事業の必要性や事業進捗における効果性等について、自己点検結果を記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	4,995	－	▲4,995	－	予定通り終了	自己点検結果について、記載を行った。蓄電池の材料や部材について、選定時にサプライチェーンの安定を考慮した上で選定している。また、民生技術の進展、サプライチェーンの安定も考慮した蓄電池技術について、引き続き技術動向を注視していく。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 － 0149 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		書面点検	最終実施年度	令和3年度			
		0206	潜水艦用静粛型駆動システムの研究	平成30年度	令和4年度	869	869	761	・外部有識者抽出点検の対象外である。	終了予定	・本事業は令和４年度が終了年度であるが、本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映してもらいたい。	－	－	－	－	予定通り終了	本事業において実施した改善事項については、類似事業に適宜反映する。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	防衛 21 － 0150 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		－	－	令和3年度			
		0207	高速高機動目標対応レーダ技術の研究	令和3年度	令和6年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	496	122	▲374	－	現状通り	引き続き、事業活動の進捗を測定できる指標を整備するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 － 0151 －	防衛 21 － 0231 －	－ －		－	－	令和4年度			

様式1

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況			備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号				令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
							執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容						1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合						
		0208	流体雑音低減型水中発射管構成要素の研究	令和3年度	令和8年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	1,771	1,771	−	現状通り	・引き続き、事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標を整備するよう努める。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	防衛 21 − 0152 −	− −	− −		−	−	令和4年度			
		0209	将来潜水艦用ソーナー装置	令和3年度	令和9年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	事業所管部局による点検・改善について、単なるスケジュール管理に関する言及に止まらず、事業の有効性や効率性に関する点検結果や事業の改善・執行の工夫に関する取組みを記載するよう指導した。	−	4,813	4,813	−	執行等改善	所見を踏まえ、事業の有効性や効率性に関する取組み、事業の改善・執行の工夫に関する取組みを記載した。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	防衛 21 − 0153 −	− −	− −		−	−	令和4年度			
		0210	研究開発推進事業	平成19年度	終了予定なし	32,048	33,356	31,184	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業概要に沿ったアクティビティの設定について指導した。なお、各アクティビティにおける活動内容は、事業の最終目標に到達する関連性が高いことから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	41,301	39,202	▲2,099	−	執行等改善	指導に従いより適切なアクティビティの設定となるように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0231 −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0211	安全保障技術研究推進制度	平成27年度	終了予定なし	9,626	9,860	8,962	・学術・産業分野への波及効果を想定した研究テーマを選定し、さらに応募者の研究を防衛のニーズにマッチングさせるため、研究期間中も一定のコミュニケーションをとり、ニーズ側のインプットを十分なものにすべき。 ・研究テーマの選定時点から小規模で結果の出やすい研究ばかりにならず、ハイリスクな研究も受け入れられる評価を行うことが必要。 ・活動とアウトプットの関係をより具体的な形でレビューを行い、より幅広い領域の研究に取り組むことが重要。 ・加速度的な技術進展の状況下において、基盤を強化するため、予算額の増加が必要。 ・基礎研究の遂行能力を持つと考えられる大学の参画が低調であることから、その要因を分析し、対策をとる必要。 ・特定の（ＡＩ等）技術において、倫理的・社会的側面の観点から検討する必要。 ・研究成果の防衛分野への活用の仕組みが評価対象となっていないことから達成度のレベル分析と達成できなかった場合の要因分析を中期アウトカムの評価軸に、活用段階へ移行した研究成果数・達成度等を長期アウトカムの評価軸に設定すべき。	事業内容の一部改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえ、適切に対応されたい。	9,569	10,363	794	−	執行等改善	・防衛分野のニーズを十分に反映した上で、民生分野での活用も期待できる研究テーマを引続き設定する。また、進捗管理において、防衛省が研究代表者の意図に反して研究内容を変更させるようなことは行わないが、研究者との技術的なディスカッションの中で、将来の活用先の一つとして防衛省のニーズをお伝えすることや、実用化に向けて産業とのマッチングを行うことも検討する。 ・研究内容の革新性を重視した審査を引続き実施し、ハイリスク研究も採択していく。また、目標を達成しなくとも、挑戦的な目標に取組んだ過程で生み出された波及効果の高い副次的な成果等も踏まえた評価を引続き行う。 ・研究テーマごとの応募傾向について分析し、次年度に公募する研究テーマの選定に反映させ、防衛省として必要な技術領域について、引続き幅広い技術領域について公募・委託していく。 ・本制度をはじめとした一連の先進技術の発掘・育成に係る事業について、取組みを強化し、令和６年度概算要求において、将来の戦い方を大きく変える機能・技術をスピード重視で創出していくブレークスルー研究（仮称）に必要な経費を新たに計上する。 ・本制度の特徴（研究への介入なし、公表制限なし、研究者への知的財産の帰属が可能、防衛装備品に速やかに適用可能な研究を求めているのではない、等）をより一層周知し、より多くの参画を促してまいりたい。特に、これまで応募が少ない研究分野に携わる大学の研究者にも広報し、大学からの応募数の向上にも取り組む。 ・ＡＩ技術については、倫理的課題に対応した研究テーマも設定し、また、採択審査を実施する外部有識者委員会から研究者に対し、倫理審査の必要性等の助言も必要に応じて実施しており、引続き技術の倫理的・社会的側面を考慮した審査を行う。 ・本制度の研究成果は、直ちに活用段階へ至るものではなく、防衛省事業での研究継続、民生産業を経由した防衛へのスピンオン、学術分野への波及による技術基盤の強化、といった複数の経路によって防衛分野への活用を目指す事業であり、本制度での研究終了以後の実用化に向けた進展状況について調査等を実施し、適切な評価指標について検討する。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0234 −	− −	− −		公開プロセス	その他	令和3年度			
		0212	研究試作事業（技術計画官）	平成30年度	終了予定なし	12,606	14,959	16,369	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されていると考えられる。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	7,916	5,143	▲2,773	−	現状通り	・事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。 ・個々の事業について繰越が継続している要因を分析し、今後、可能な限り効率的な予算執行に努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0239 −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0213	水際障害処理装置（地雷原処理装置）	平成30年度	終了予定なし	581	1,238	1,238	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・現状・課題について、事業の目的と事業進捗に伴って直面している実情を記載するよう指導した。 ・一者応札が相当数見受けられるので、応札者拡大のため努力されたい。	−	−	−	−	現状通り	指摘のあった事項を踏まえ、応札者拡大のため、執行内容について内容を精査し、競争性を確保したものとなるように努めたい。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	防衛 21 − 0240 −	防衛 21 − 0231 −	− −		−	−	令和4年度			
		0214	戦闘機等のミッションシステム・インテグレーションの研究試作	令和元年度	令和6年度	5,478	5,478	5,478	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	7,546	3,461	▲4,085	−	現状通り	引き続き経費の低減を実施する。	−	防衛装備庁プロジェクト管理部 防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0241 −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0215	ＥＭＰ装備に関する研究	令和3年度	令和10年度	483	483	807	EMPは、今後大変重要となる可能性がある技術であり、重要な活動である。本事業は、成果目標を達しており、引き続き効率的に継続されたい。4-②の定量的評価指標は、「図面の承認数」が正しいか？アウトプット：取り組みの総計→短期アウトカム：契約の件数→中期アウトカム：図面の承認数/報告書の数→長期アウトカム：解明した技術的課題の数という評価指標になっているが、契約件数や報告書の数などは、今年度の活動で直接的に得られるものであるため、アウトカムの設定としてはその結果として得られる価値にできるとより良い計画・評価となると考える。アウトカムの定量的な目標値をどのように設定するのか。新規の技術であり、難しいところであるが、本来はどれくらいの活動をし、どれくらいの新たな知見を得るべきかの目標設定が必要であるが、その数値の妥当性が本資料からは評価できなかった。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	2,264	272	▲1,992	−	執行等改善	4-②の記述について、外部有識者のご指摘の通り「図面の承認数」が正しいことから修正した。また、防衛省が実施する研究開発では装備品に結びつく技術的課題を解決すること自体が活動であり、報告書の数が必ずしも研究開発の活動状況を評価するものではないとの認識から技術的課題の解明の数を定量的な評価の指標としたが、外部有識者の所見を踏まえて今後の事業ではより丁寧に設定理由を説明するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0231 −	− −	− −		書面点検	その他	令和3年度			
		0216	ゲーム・チェンジャーの早期実用化に資する取組	令和4年度	令和9年度	−	−	−	ゲームチェンジャーとしか表記されていないため、具体的にどのような技術なのか、どれだけの費用が掛かるのかが全く見通せないが、民間で開発されている技術を防衛用途に展開していくという発想自体は否定されるべきではない。新興技術の多くは民間での開発が進んでいるが、それらを防衛に応用していくための技術の目利きを育てることが重要となる。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	−	8,343	8,343	−	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、民間での開発が進んでいる技術を防衛技術へ応用していくことに努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	− −	− −	− −		書面点検	前年度新規	−			
		0217	ミサイル防衛のための滞空型無人機活用の検討	平成29年度	終了予定なし	60	60	60	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	100	280	180	−	現状通り	本事業は、重要な研究であることから着実に成果を得られるよう努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0218	応急装甲化技術に関する研究	令和3年度	令和5年度	386	386	336	本事業は、成果目標を達しており、評価できる。アウトプット：取り組みの総計→短期アウトカム：契約の件数→中期アウトカム：報告書の数→長期アウトカム：解明した技術的課題の数という評価指標になっているが、契約件数や報告書の数などは、今年度の活動で直接的に得られるものであるため、アウトカムの設定としてはその結果として得られる価値にできるとより良い計画・評価となると考える。アウトカムの定量的な目標値をどのように設定するのか。新規の技術であり、難しいところであるが、本来はどれくらいの活動をし、どれくらいの新たな知見を得るべきかの目標設定が必要であるが、その数値の妥当性が本資料からは評価できなかった。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、今年度に終了する予定の事業ではあるが、これまでの事業進捗から事業の必要性や効率的な実施などの視点から自己点検結果を記載するよう指導した。	296	−	▲296	−	予定通り終了	防衛省が実施する研究開発では装備品に結びつく技術的課題を解決すること自体が活動であり、報告書の数が必ずしも研究開発の活動状況を評価するものではないとの認識から技術的課題の解明の数を定量的な評価の指標としたが、外部有識者の所見を踏まえて今後の他の事業ではより丁寧に設定理由を説明するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		書面点検	最終実施年度	令和3年度			
		0219	高出力マイクロ波（ＨＰＭ）照射装置の取得等	令和3年度	令和7年度	44	44	38	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	57	58	1	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0220	高出力レーザーに関する研究	平成30年度	令和6年度	8,276	8,187	8,125	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,969	4,184	2,215	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0221	将来レールガンの研究	令和4年度	令和15年度	1,481	1,481	1,481	本事業は他国がまだ成功していない技術だけに、我が国が先行して実用化できれば優位性を確保できるが、他国が成功していないのは技術的な困難があるからでもある。本事業では要素技術や技術基盤の構築が目標となっているが、将来的な実用に向けての研究開発は不可欠とはいえ、どこかの時点できちんと技術評価を行い、その実現可能性を見定める必要がある。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	4,358	491	▲3,867	−	現状通り	本件は、令和6年度に基本設計についての技術課題解明の見通しについて、その後、研究試作、所内試験の結節点毎に技術的課題の解明状況に関する評価の実施を予定しており、他の事業と同様に適切な技術評価の実施に努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		書面点検	前年度新規	−			
		0222	先進技術の橋渡し研究	令和2年度	終了予定なし	620	620	630	・戦い方の変革にインパクトを与えられるような先端技術の選定をするために、研究者側と運用者側が良く連携し、ニーズから導き出される技術要求を強化していく必要。 ・フェーズ１においては、審査側の思考の飛躍的発想を認める柔軟性を担保するため、多様な外部人材の登用が重要。また、フェーズ２においては、研究進捗の迅速性を高めるための工夫が必要。 ・必ずしも年度管理が適切でない場合があるため、年度の切れ目にかかわらず、内容の進捗に応じたフェーズのレビューを行い、継続・中止等の判断をするべき。 ・コストや量産化を評価する仕組みを審査項目に入れ、審査項目にあたっては、変化の影響をさまざまな角度から検討するとともに、最終的な成果との関係性がわかるようにするべき。 ・育成を断念した技術が将来活きる可能性を踏まえ、失敗要因、成功要因の分析・共有が重要。 ・初期アウトカムとして継続件数を設定しているが、挑戦的な研究を阻害しないためには、質的な評価に基づいた指標と併せて考慮することが望ましく、また、ピアレビューの審査項目指標と長期アウトカムを整合させるべき。	事業内容の一部改善	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえ、適切に対応されたい。	2,679	6,611	3,932	−	執行等改善	・運用者側との意見交換を活発化するため、実施中の研究事業の概要を確認できるよう部内向けのポータルサイトを整備した。 ・外部人材の登用については、本事業単独ではなく防衛装備庁の研究開発関連組織の在り方等も含めて議論を進めていく。フェーズ２においても積極的に試作を伴うデータ取得を実施する等、研究進捗の迅速性を高める工夫を各研究所に対して推奨することを検討する。 ・マイクロマネジメントに陥らない範囲で研究の進捗を管理し、各研究事業に合わせた効率的なピアレビューのタイミングを検討する。 ・フェーズ４の研究に係る審査において、製造の困難さを審査項目に入れるよう検討する。 ・審査への影響を分析することにより中長期的に審査項目の改善をしつつ、各フェーズのピアレビュー結果も踏まえて、最終的な成果との関係性を明らかにしていく。 ・ピアレビューにて要因を分析するとともに、中長期にデータベースを整備していく。 ・トライアンドエラー的側面が強い事業であり、各研究の技術的な困難さを予見しきることが難しいことも踏まえつつ、質的な評価方法について不断に検討を進めていく。 ・研究事業の継続に係る審査項目として、研究試作等へつなげるための技術育成の進捗を含めるよう検討する。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	防衛 21 − 0231 −	− −	− −		公開プロセス	その他	令和3年度			
		0223	装備システム用サイバー防護技術の研究	令和3年度	令和6年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	1,246	682	▲564	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		−	−	令和3年度			
		0224	長期運用型ＵＵＶ技術の研究	令和元年度	令和6年度	3,083	3,083	3,079	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	アクティビティの記載内容について、政策の具体的な活動について適切に記載するよう指導した。	2,566	3,558	992	−	現状通り	アクティビティの記載内容について、政策の具体的な活動についてより適切に記載するよう努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	− −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		0225	島嶼防衛用新対艦誘導弾の研究	平成30年度	令和9年度	7,899	7,611	7,138	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	5,140	5,140	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		再掲																				− −	− −	− −							
		新23-0033	ＡＩを活用した意思決定迅速化に関する研究	令和5年度	令和8年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	−	−	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	令和元年度			
		新23-0034	ＨＧＶ対処の研究	令和5年度	令和13年度	−	−	−	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	−	−	−	−	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	−	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	−	− −	− −	− −		−	−	令和元年度			

様式1

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額		反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		新23-0035	協調制御ロバストネットワーク技術の研究	令和5年度	令和8年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	－	－	－	－	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	－　－	－　－	－　－		－	－	令和元年度			
		新23-0036	群目標対処システムの研究	令和5年度	令和9年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	－	－	－	－	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	－　－	－　－	－　－		－	－	令和元年度			
		新23-0037	広帯域電磁波受信技術の研究	令和5年度	令和7年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	－	－	－	－	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	－　－	－　－	－　－		－	－	令和3年度			
		新23-0038	新たな研究機関創設に向けての検討	令和5年度	令和5年度	－	－	－	技術も含む環境変化が大きくなってきた時代において、本事業は大変重要なものである。今年度の結果はわからないが、しっかりと進めてもらいたい。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	20	－	▲20	－	予定通り終了	外部有識者の所見を踏まえ、しっかりと事業を進めるよう努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）技術基盤の強化に必要な経費	－　－	－　－	－　－		書面点検	最終実施年度	－			
		新23-0039	大規模港湾がない島嶼部における揚陸支援システムの研究	令和5年度	令和9年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	－	1,007	1,007	－	現状通り	事業活動の進捗を測定できる指標について、引き続きより理解が得られるよう丁寧に設定理由を記述するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	－　－	－　－	－　－		－	－	令和元年度			
		新23-0040	無人戦闘車両システムの研究	令和5年度	令和10年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動内容について、具体的な活動を適切に記載するよう指導した。	－	－	－	－	現状通り	活動内容について、具体的な活動についての理解が得られるよう丁寧に記載するように努める。	－	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	－	－　－	－　－	－　－		－	－	令和元年度			
		新23-0041	ＵＵＶ管制技術に関する研究	令和5年度	令和11年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・各段階の成果目標等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	－	－	－	－	現状通り	引続き事業の各段階の成果目標等を適切に記載するよう努める。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　新23　－　0017　－	－　－	－　－		－	－	－			
		新23-0042	新型機雷（小型機雷）の開発	令和5年度	令和9年度	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・活動指標の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	－	－	－	－	現状通り	活動指標の記載内容について、活動目標に合うよう反映した。	－	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	－	防衛　新23　－　0019　－	－　－	－　－		－	－	－			
	施策名：Ⅳ-7-（3）　防衛装備移転の推進																														
		再掲																				－　－	－　－	－　－							
		再掲																				－　－	－　－	－　－							
政策名：Ⅴ-8　防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化（防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化）																															
	施策名：Ⅴ-8-（1）　人的基盤の強化																														
		再掲																				－　－	－　－	－　－							
		再掲																				－　－	－　－	－　－							
		再掲																				－　－	－　－	－　－							
		0226	特別借受宿舎	昭和39年度	令和5年度	13,014	12,983	12,944	一定の効果を上げていると評価できる。後年度負担を減らす効果が引き続き見込めるのであれば、今後もできるだけ早期買取を継続すべきではないか。	終了予定	・事業目的に対応した発現効果を整理し、活動目標や成果指標を設定するよう指導した。なお、今年度において終了する事業であるところ、活動内容が事業の最終目標に直結することから、単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	53,916	－	▲53,916	▲2,544	予定通り終了	令和５年度予算において、残り全ての特別借受宿舎の買取経費を計上したことにより、今年度で終了する事業である。なお、一括買い取りにより令和６年度以降は借受料が発生しなくなったことから、令和６年度において概算要求は不要となった。（参考：令和５度予算の借受料は２，５４４百万円）	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 （項防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛　21　－　0201　－	－　－	－　－		書面点検	最終実施年度	令和元年度			
		0227	一般借受宿舎	昭和48年度	終了予定なし	4,099	4,077	3,985	目標値の設定の根拠をより明確にすべき。現状どの程度の不足、ニーズがあり、それに対してどの程度のペースで達成することが必要なのか、という観点から目標値設定の合理性を説明されたい。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間にその目的が達成する予定年度とその目標値を設定するよう指導した。	4,375	5,072	697	▲33	縮減	宿舎整備は、各年度における部隊の新編・改編に伴う増員、その他の宿舎所要の変動により宿舎戸数が不足する場合、必要戸数を借受宿舎または建設により確保することとしている。その際は①駐屯地周辺に賃貸物件の市場供給がない②賃貸契約のコストよりも建設コストの方が安い③部隊の即応性を確保するため駐屯地近傍に置く必要がある、といった要件を踏まえ、建設・借受のどちらが合理的か判断している。　一般借受宿舎の目標値については、上記の考え方を踏まえ、防衛省・自衛隊において任務遂行に必要となる宿舎戸数を目標値としている。　なお、継続借受分については、未入居宿舎の廃止等を行ない、借上戸数を６８戸減らしたことで３３百万円の縮減を図っている。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛　21　－　0202　－	－　－	－　－		書面点検	見直しの有無	令和4年度			
		0228	宿舎（建設等）	昭和37年度	終了予定なし	23,256	24,068	22,276	・借受宿舎と国による宿舎整備の棲み分け（どの部隊のどの宿舎は借受ですすめるのがよいのか）の考え方について説明の上、宿舎整備の目標値が妥当であることの根拠を示されたい。	現状通り	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、本事業は、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間にその目的が達成する予定年度とその目標値を設定するよう指導した。	22,213	31,883	9,670	－	現状通り	宿舎整備は、各年度における部隊の新編・改編に伴う増員、その他の宿舎所要の変動により宿舎戸数が不足する場合、必要戸数を借受宿舎または建設により確保することとしている。その際は①駐屯地周辺に賃貸物件の市場供給がない②賃貸契約のコストよりも建設コストの方が安い③部隊の即応性を確保するため駐屯地近傍に置く必要がある、といった要件を踏まえ、建設・借受のどちらが合理的か判断している。宿舎（建設等）の目標値については、上記の考え方を踏まえ、防衛省・自衛隊において任務遂行に必要となる宿舎戸数を目標値としており、妥当である。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 （項防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費	防衛　21　－　0203　－	－　－	－　－		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0229	職業生活と家庭生活の両立支援及び艦艇の通信環境の改善	平成19年度	終了予定なし	81	81	80	緊急登庁支援用備品の整備および庁内託児所の整備については、成果目標を達成しており、評価できる。艦艇の通信環境の改善については、成果目標として隊員満足度調査のような形で測定できないか検討されたい。また一歩進めて、家族だけではなく友人との通信が頻繁にできるような環境整備も検討されたい。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	87	525	438	－	年度内に改善を検討	事業効果の測定方法については、アンケート調査の実施を含め検討する。また、通信の対象についてはすでに包含されるところであり、頻度についても艦艇全体の通信運用に影響のない範囲で引き続き検討する。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 人的基盤の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21　－　0212　－	防衛　21　－　0211　－	防衛　21　－　0210　－		書面点検	見直しの有無	令和3年度			
		0230	防衛大学校における教育訓練に要する経費	昭和28年度	終了予定なし	2,175	2,177	2,173	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	3,491	5,000	1,509	－	現状通り	・引き続き、各経費の効率的・効果的な予算要求及び予算執行に努める。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費 （項）艦船整備費 （大事項）艦船の整備維持に必要な経費 （項）航空機整備費 （大事項）航空機の整備維持に必要な経費	防衛　21　－　0015　－	防衛　21　－　0175　－	防衛　21　－　0176　－	防衛21-0208 防衛21-0209 防衛21-0213 防衛21-0275 防衛21-0320	－	－	令和4年度			
		0231	自衛官等募集活動に要する経費	昭和28年度	終了予定なし	2,434	2,434	2,362	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・事業概要に基づきアクティビティが計上されているが、アウトカムが全て同一の内容であることから、各アクティビティに応じた効果指標を設定するよう指導した。	2,737	3,612	875	－	年度内に改善を検討	当該事業の最終目的は採用予定人員の確保であり、各アクティビティが事業の最終目的に直結する性質上、個別の効果指標を設定することは困難である。	－	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）　人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費	防衛　21　－　0214　－	防衛　21　－　0218　－	防衛　21　－　0217　－	防衛21-0216	－	－	令和3年度			
		0232	援護業務に要する経費	昭和45年度	終了予定なし	3,085	3,085	2,990	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・現状・課題においては、現状における事業の実施結果（就職率）のほか、実施に伴い直面し、解決しなければならない課題について詳述するよう指導した。	3,011	3,163	152	－	年度内に改善を検討	・作成過程のご指摘を踏まえ、記載内容について修正を行った。	－	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）　人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費	防衛　21　－　0215　－	防衛　21　－　0219　－	防衛　21　－　0220　－	防衛21-0221 防衛21-0222 防衛21-0227 防衛21-0228	－	－	令和3年度		○	
		0233	貸費生貸与金	昭和30年度	終了予定なし	17	17	14	本事業の目的から見て、貸費学生の入隊率が５割前後に留まっていることは残念であり、予算の効率的な執行とは言い難い。貸費学生に基地に招いての見学会や隊員との交流のイベント、インターンシップ的な活動など、入隊者数を増やすためのの直接的な働きかけの施策を検討されたい。	事業内容の一部改善	・有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。	26	32	6	－	執行等改善	学資金については、自衛官として一定年限以上勤務しない場合や辞退した学生に対しては返還義務を課しており、引き続き適正な執行を行っていく。また、入隊者数を増やすための直接的な働きかけの施策として、貸費学生に対する部隊及び機関における研修等の機会の一層の拡充を検討する。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費	防衛　0　－　0223　－	－　－	－　－		書面点検	その他	平成30年度			
		0234	予備自衛官等制度（予備自衛官等に必要な経費）	昭和29年度	終了予定なし	6,154	6,154	5,540	・民間委託業務を拡大し、予備自衛官等の一定人数の雇用や採用実績に応じて入札条件を加点する等、企業にいかに協力してもらうかが重要。 ・平時においても、マーケットごとに効果的な募集活動を行う必要。 ・訓練内容が雇用企業にメリットがあるコンテンツとなっているか分析検討と見直しが必要。 ・元自衛隊員だけでなくより幅広い層もターゲットとし、採用後に技能を習得させて、予備自衛官となった人材の社会復帰、雇用に繋げていくことは考えられないか。 ・訓練内容をやりがいのあるものにアップデートするとともに、予備自衛官の経験がいかに有用か、説得力のある発信を強化すべき。 ・人口減少の状況下で、これまでと同様の定員管理や、充足率向上の目標を見直すべきではないか。 ・技能部分については各技能の必要性に照らした人数管理が必要。 ・予備自衛官制度の入口として大学とその内部のサークル活動が考えられる。コロナ禍後の人脈再構築のために広報活動を強化する必要。 ・髪色等の規定について、見直す必要。 ・アンケート調査に加え、サンプル抽出によるデプスインタビュー等を行い、退職や志願敬遠等の詳細な要因分析を行い、改善に活かす必要。 ・外部から招き入れる予備自衛官補制度と、流出するものを留める予備自衛官制度では対象も含めて異なるため、分けて対応を検討する必要。	事業内容の一部改善	・公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえ、適切に対応されたい。	6,361	6,229	▲132	－	執行等改善	・予備自衛官等制度については、防衛力整備計画に基づき、予備自衛官等が常備自衛官を効果的に補完するため、充足率の向上のみならず、現行制度を抜本的に見直し、体制強化を図ることとしており、 〇民間委託業務における予備自衛官の活用 〇訓練内容の見直し 〇募集・広報活動の強化　など これらの公開プロセスにおける取りまとめコメントの内容も十分に受け止めながら、今後の制度見直しに向けた検討を進めていく。 ・予備自衛官等や企業に対するアンケート調査について、調査結果に基づく詳細分析等が不十分との御指摘を踏まえ、今後の施策検討に資する取り組みとするため、聴取内容及び実施要領を再検討し、関連する事業について、令和６年度概算要求において所要の経費を計上する。	－	人事教育局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛　21　－　0224　－	防衛　21　－　0225　－	防衛　21　－　0226　－	防衛21-0277	公開プロセス	その他	令和4年度			
		0235	部外講師の招へいに要する旅費	昭和43年度	終了予定なし	16	16	11	講師招へい数や講演会等事業数の実績は当初見込みもしくは目標値通りであるのに対して、予算の執行額の割合が５割前後に留まっている理由を記載されたい。	事業内容の一部改善	・本事業は、長期アウトカムのみが発現する事業だが、可能な限り短期間にその目的が達成する予定年度とその目標値を設定するよう指導した。	17	18	1	－	執行等改善	執行額の割合が5割にとどまっている要因については、各事業の内容を細かく精査する必要があるため、今後しっかりと分析してまいりたい。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）海上自衛隊の運営に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費	防衛　21　－　0228　－	－　－	－　－		書面点検	見直しの有無	平成30年度			
		0236	ＡＩ導入推進に関する経費	令和2年度	終了予定なし	71	71	49	長期アウトカムの設定を踏まえつつ、事業目的や課題解決について、より具体的な記載ができるよう改善に努めていただきたい。	現状通り	・事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されていると考えられるが、有識者の所見を踏まえ、より適切に対応されたい。	71	137	66	－	現状通り	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果の低下が生じた場合の迅速な改善につなげる。事業の進捗とその成果を踏まえつつ、長期アウトカムの成果目標の達成のため、課題解決等の具体化について検討していく。	－	整備計画局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛　21　－　0230　－	－　－	－　－		書面点検	その他	令和3年度			
		0237	任期制自衛官の退職時の進学支援	令和3年度	終了予定なし	3	3	1	・外部有識者抽出点検の対象外である。	事業内容の一部改善	・現状・課題においては、現状における事業の実施結果のほか、実施に伴い直面し、解決すべき課題について記載するよう指導した。なお、本事業は、活動内容が事業の事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	7	12	5	－	年度内に改善を検討	事業の実施結果、解決すべき課題について分析し、改善を図る。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費	防衛　21　－　0229　－	－　－	－　－		－	－	令和3年度			
		新23-0043	自衛官の中途退職抑制施策の調査研究	令和5年度	終了予定なし	－	－	－	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・アクティビティ等の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	61	88	27	－	現状通り	引き続き、適切な予算要求に努めていく。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 海上自衛隊の運営に必要な経費	防衛　新23　－　0015　－	－　－	－　－		－	－	－			
		新23-0044	防衛省・自衛隊の教育機関等を卒業した留学生との関係強化に関する経費	令和5年度	令和5年度	－	－	－	インド太平洋諸国との関係強化のために非常に重要な取り組みであり、実施後のアンケートや振り返りを通して事業の改善を継続されたい。	終了予定	・外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動目標や成果目標の設定理由の記載内容について、適切に記載するよう指導した。	38	－	▲38	－	予定通り終了	事業実施後のアンケートや振り返りを踏まえて、今後の事業を検討する。	－	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費	－　－	－　－	－　－		書面点検	最終実施年度	－			
	施策名：Ⅴ-8-（2）　衛生機能の変革																														

様式１

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了（予定）年度	令和４年度補正後予算額	令和４年度 執行可能額	令和４年度 執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見 評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	令和５年度当初予算額 A	令和６年度要求額 B	差引き B－A＝C	反映状況 反映額	反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号 1つ目	令和4年度レビューシート番号 2つ目	令和4年度レビューシート番号 3つ目	令和4年度レビューシート番号 3つを超える場合	令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検対象とした理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査	補助金等	基金
		0238	医療備品、衛生器材等の整備	昭和29年度	終了予定なし	4,509	4,563	4,531	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	10,156	9,990	▲166	－	現状通り	競争性の確保及び更なる効率化を推進するように努める。	人事教育局	一般会計	（項）防衛本省共通費 （大事項）防衛本省一般行政に必要な経費 （項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛 21 － 0278 －	防衛 新23 － 0023 －	－ －		－	－	令和元年度			
		0239	医療施行費	昭和29年度	終了予定なし	12,887	17,568	16,623	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当である。	13,213	14,788	1,575	▲36	縮減	・後発医薬品採用及び、実績単価の反映による縮減を図った。（▲36百万円）	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費	防衛 0 － 0279 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0240	防衛医科大学校における教育訓練に要する経費	昭和47年度	終了予定なし	2,744	2,732	2,701	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。	3,364	3,627	263	▲0	縮減	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。また引き続き、実績単価の適正単価の採用等によりコスト縮減に努める（縮減額：△３８７千円）。	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）衛生機能の強化に必要な経費	防衛 21 － 0280 －	－ －	－ －		－	－	令和2年度			
		0241	診療委託費	昭和29年度	終了予定なし	13,204	15,531	15,110	事業は適切に執行されており評価できる。定期健康診断とその結果のフォロー、疾病発発等を通じてさらなる疾病予防対策の強化を図られたい。	現状通り	・各アクティビティにおける活動内容は、事業の最終目標に直結することから、現状においては単一アウトカムのみを設定することは妥当であると考えられるが、有識者の所見も踏まえ、適切に対応されたい。	13,167	14,087	920	－	現状通り	自衛隊病院等の部内医療機関への利用促進に努める。	人事教育局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）衛生機能の強化に必要な経費	防衛 0 － 0281 －	防衛 新22 － 0014 －	－ －		書面点検	見直しの有無	令和元年度		○	
		0242	衛生機能の強化に必要な経費	昭和29年度	終了予定なし	775	770	527	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・執行率が低調のため、執行状況を予算に反映されたい。	2,083	5,035	2,952	－	現状通り	教育器材等の整備に当たっては競争性の確保及び更なるコスト低減を推進する。	人事教育局 整備計画局 防衛政策局	一般会計	（項）防衛力基盤強化推進費 （大事項）人的基盤の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）防衛力基盤強化施設整備費 （大事項）運用基盤等の強化に必要な経費 衛生機能の強化に必要な経費 （項）武器車両等整備費 （大事項）武器車両等の購入に必要な経費	防衛 21 － 0182 －	防衛 21 － 0277 －	防衛 21 － 0278 －	防衛21-0200	－	－	令和元年度			
いずれの政策・施策にも関連しないもの																														
		0243	地方防衛局施設整備等に必要な経費	令和3年度	終了予定なし	64	123	105	・外部有識者抽出点検の対象外である。	現状通り	・事業を実施するとの課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗を測定できる指標が概ね整備されている。 ・繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努められたい。	315	171	▲144	－	現状通り	繰越が継続している要因を分析し、可能な限り効率的な予算執行に努める。	大臣官房	一般会計	（項）地方防衛局 （大事項）地方防衛局の移転に必要な経費 （項）地方防衛局施設費 （大事項）地方防衛局施設整備に必要な経費	－ －	－ －	－ －		－	－	－			
行政事業レビュー対象 計										一般会計		4,357,015	5,146,688	789,673																
行政事業レビュー対象外 計										一般会計		2,430,950	2,497,501	66,551																
合計										一般会計		6,787,965	7,644,189	856,224																

注１．　該当がない場合は「－」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注２．「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注３．「行政事業レビュー推進チームの所見」の「評価結果」欄の各判定の考え方はそれぞれ次のとおりである。

「廃止」：「事業目的に重大な問題がある」、「地方自治体や民間等に委ねるべき」、「効果が見込めない事業内容や実施方法となっている」などの状況にあり、事業の存続自体に問題があると考えられる場合

「事業全体の抜本的な改善」：事業の存続自体を問題とするまでには至らないが、事業全体として「事業内容が事業目的の達成手段として有効でない」、「資金が効率的に使われていない」、「効果が薄い」など、十分に効果的・効率的な事業となっておらず、事業内容を大幅かつ抜本的に見直すべきと考えられる場合

「事業内容の一部改善」：より効果的・効率的な事業とするため、事業の中の一部のメニューの改廃、事業実施方法や執行方法の一部の改善等によって、事業内容の一部を見直すべきと考えられる場合

「終了予定」：令和４年度終了事業や令和５年度終了予定事業など令和５年度のレビューを実施する前に令和６年度予算概算要求を行わないことが決まっていた事業

注４．「反映内容」欄の各判定の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：令和５年度の点検の結果、事業を廃止し令和６年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：令和５年度の点検の結果、見直しが行われ令和６年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うものの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：令和５年度の点検の結果、令和６年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：令和５年度の点検の結果、令和６年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、令和４年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し令和６年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：令和５年度の点検の結果、令和６年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）

注５．予備費を使用した場合は「備考」欄にその旨を記載するとともに、金額と支出が決定した閣議決定日を記載すること。